BOOK NEWS from MARUZEN-YUSHODO

2023.08.31 作成

2023 年 8 月新聞書評に掲載された本

あなたの燃える左手で

朝比奈 秋 著
河出書房新社
ハンガリーの病院で手の移植手術を受けたアサト。だが麻酔から醒めると、繋がっていたのは見知らぬ白人の手。アサトは他人の手を受け入れられず…。身体を、国を奪われる意味を問う傑作中篇。『文藝』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/08/05

2023:6./ 205p
978-4-309-03112-5
¥1,760〔税込〕

梅雨物語

貴志　祐介 著
KADOKAWA
命を絶った青年が残した 1 冊の句集。そこに記された 13 句を解釈していくほどに、隠された秘密が浮かび上がり…。ホラーとミステリの極北に至る 3 編。『小説野性時代』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/08/06

2023:7./ 322p
978-4-04-112508-3
¥2,145〔税込〕

アンリアル

長浦 京 著
講談社
両親の死の真相を探るため警察官になった 19 歳の沖野修也は、ある日、聞きなれない部署への出向を命じられた。そこは人知れず、諜報、防諜を行うスパイ組織であった…。『小説現代』掲載を改題し、加筆・修正。

産経新聞 2023/08/06

2023:6./ 397p
978-4-06-531809-6
¥1,980〔税込〕

縁切り上等!～離婚弁護士松岡紬の事件ファイル～

新川 帆立 著
新潮社
子供を連れ、北鎌倉の実家に逃げ帰った聡美は、縁切りで名高い「東衛寺」の娘で弁護士の紬に出会う。勢い込んで離婚相談をした聡美だが、思いがけないことを言われ…。リーガル・エンタメ。『小説新潮』連載を加筆し単行本化。

産経新聞 2023/08/06

2023:6./ 280p
978-4-10-355131-7
¥1,760〔税込〕

●ご注文の際には，タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
●原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
●ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部（課）までお申し付けください。
●表示価格は 2023 年 8 月時点での税込み価格です。

MARUZEN-YUSHODO
丸善雄松堂株式会社 ［学術情報ソリューション事業部 企画開発統括部］
〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル
URL kw.maruzen.co.jp　　Email: marketing@maruzen.co.jp

運び屋円十郎

三本 雅彦 著
文藝春秋
約束の物は何があっても届け切る、やり手の<運び屋>円十郎。江戸の街を駆け回る彼は、ある夜襲撃を受けるが、それは大きな災厄の始まりに過ぎなかった…。『オール讀物』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

産経新聞 2023/08/06

2023:6./ 291p
978-4-16-391705-4
¥1,980〔税込〕

オーグメンテッド・スカイ

藤井 太洋 著
文藝春秋
2024 年、鹿児島。高校生マモルは、男子寮の次期寮長に指名された。その重要ミッションの 1 つが、学生 VR 全国大会出場へ向けチームをまとめることだが、大会事務局の対応に違和感を覚え…。『別冊文藝春秋』連載を書籍化。

産経新聞 2023/08/06

2023:6./ 357p
978-4-16-391710-8
¥2,090〔税込〕

遊廓・花柳界・ダンスホール・カフェーの近代史(らんぷの本　mascot)

小針 侑起 著
河出書房新社
かつて日本にあった遊廓。明治中・後期から赤線が廃止された 1958(昭和 33)年までに焦点を当て、遊女、芸妓、カフェーの女給、ダンスホールのダンサーなど「夜の仕事」に従事していた女性の歴史を資料を駆使して紐解く。

産経新聞 2023/08/06

2022:10./ 143p
978-4-309-75051-4
¥2,310〔税込〕

ヌードの東アジア～風俗の近代史～(日文研・共同研究報告書 169)

井上章一／斎藤　光 著
淡交社
近代以降、西洋の文物が地域ごとに独自に根付く中で生み出されてきた東アジアにおける現在のライフスタイル。中国、韓国、日本における衣・食・住、生活風俗の近代化を、ヌード、ストッキングなどのテーマで問い直す。

産経新聞 2023/08/06

2023:3./ 429p
978-4-473-04552-2
¥2,530〔税込〕

40 歳だけど大人になりたい

王谷　晶 著
平凡社
年はとった。しかし、なんか違う気がする。身体の衰え、お金の不安、変えられない生活習慣…。理想と現実のギャップに戸惑う中年世代へ贈る、痛快オトナ考。『ウェブ平凡』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

産経新聞 2023/08/06

2023:4./ 179p
978-4-582-83918-0
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

キャプテン!～日本のスポーツ界を変えた男の全仕事～

川淵 三郎 著
ベースボールマガジン社
日本初のプロサッカーリーグを立ち上げるなど、持ち前の行動力で日本のスポーツ史を大きく変えた川淵三郎。その全仕事とスポーツ界に残した数々のレガシーを綴る。栗山英樹との特別対談、関係者 26 人の証言も収録。

産経新聞 2023/08/06

2023:6./ 339p
978-4-583-11619-8
¥1,870〔税込〕

ぼくのサビンカ

ラデック・マリー 著
ブロンズ新社
ぼくの腕の中でごろごろいうとき、サビンカはごきげんなんだ。サビンカは、だっこが好き。ぼくたちは、一緒にいるのが大好き-。チェコで生まれた、少年とねこのいとおしい時間を描いた絵本。

産経新聞 2023/08/06

2023:6./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-89309-720-0
¥1,540〔税込〕

浄瑠璃寺の 365 日～石仏の里に佇む静寂の寺～

佐伯 功勝 著
西日本出版社
こんこんと水が湧き続ける池。この世に命を送り出す薬師如来様。彼岸へ往く命を迎える阿弥陀如来様…。静かな山里・当尾で千年近い時を刻む浄瑠璃寺の日常を、住職が綴る。写真も掲載。

産経新聞 2023/08/06

2023:7./ 179p
978-4-908443-86-2
¥1,870〔税込〕

戦争とデータ～死者はいかに数値となったか～(中公選書 139)

五十嵐元道 著
中央公論新社
惨劇の実態を、どのように把握するのか。200 年に及ぶ戦争の歴史を辿り、主権国家や国際的ネットワークが統計学や法医学の知見から算出する世界を描く、もうひとつの戦争史。

産経新聞 2023/08/06、朝日新聞 2023/08/12、日本経済新聞 2023/08/19

2023:7./ 6p,268p
978-4-12-110140-2
¥1,925〔税込〕

終わらない戦争～復員船「鳳翔」“終戦”までの長き航路～

戸津井 康之 著
二見書房
敗戦により、世界各地の戦場跡に日本軍人と民間人が取り残された。凄絶な呉の大空襲を生き残り、戦後すぐに復員船へと転じた空母「鳳翔」の、史上最大級の人命救助作戦をたどる。

産経新聞 2023/08/12

2023:5./ 287p
978-4-576-23056-6
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

これで死ぬ～アウトドアに行く前に知っておきたい危険の事例集～

羽根田 治 著

山と渓谷社

助けようとして死ぬ。ダニに噛まれて死ぬ。ころんで死ぬ…。まさか、こんなことで死ぬなんて! 53 のアウトドアでの死の事例を紹介。死なないための安全知識も解説する。

産経新聞 2023/08/12

2023:7./ 144p
978-4-635-50048-7
¥1,430〔税込〕

自衛隊新戦力図鑑<2023>(サンエイムック)

三栄書房

海上自衛隊創設 70 周年を記念し開催された国際観艦式 2022 を紹介。ほか、日英伊共同「戦闘航空システム」、ブルーインパルス 2022 ベストフライト集、日英共同訓練「ヴィジラント・アイルズ 22」などを収録する。

産経新聞 2023/08/12

2023:3./ 111p
978-4-7796-4759-8
¥990〔税込〕

諜報国家ロシア～ソ連 KGB からプーチンの FSB 体制まで～(中公新書 2760)

保坂三四郎 著

中央公論新社

国際法を無視したウクライナ侵攻の裏には何があるのか。ウクライナで近年公開された KGB の極秘文書、反体制派やハッカーによるリーク情報、最新のインテリジェンス研究から、「諜報国家」ロシアの社会構造と行動原理に迫る。

産経新聞 2023/08/13

2023:6./ 8p,298p
978-4-12-102760-3
¥1,078〔税込〕

オヤジも目覚める!ChatGPT 革命～生成 AI で何が変わる?何が問題?～

竹内薫 著

徳間書店

AI は、一段階、大きな進歩を遂げた! 還暦過ぎの元プログラマーでサイエンス作家の著者が、ChatGPT と仲良くなりながら、その他の生成 AI や機械翻訳ツールを実践的に使いこなす方法を紹介する。

産経新聞 2023/08/13

2023:8./ 151p
978-4-19-865677-5
¥1,760〔税込〕

絵師金蔵赤色浄土

藤原緋沙子 著

祥伝社

幕末の土佐に生まれた金蔵は、絵の才能を認められ、江戸で狩野派に学び、国元絵師になる。しかし、時代は金蔵を翻弄し…。「絵金」と呼ばれた、艶やかな色彩で見る者を虜にした異才の激動の生涯を描く。

産経新聞 2023/08/13

2023:5./ 288p
978-4-396-63644-9
¥1,925〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ドイツサッカー文化論

須田芳正／福岡正高／杉崎達哉／福士徳文 著
東洋館出版社
日本人選手が数多くプレーするドイツサッカー。その歴史、国民性や文化におけるサッカーとの関係、育成大改革や課題等、あらゆる面からドイツサッカーの特徴や強さの秘密を掘り下げる。武藤嘉紀、室屋成のインタビューも収録。

産経新聞 2023/08/13

2023:7./ 197p
978-4-491-05063-8
¥2,200〔税込〕

AI 人材にいま一番必要なこと～すべての人が知るべき、AI の本質と活用術～

柴原 一友 著
日本評論社
AI を導ける人材こそが、ビジネスの現場で一番求められている。AI の本質から紐解きつつ、AI をビジネスで活かすためのポイントや陥りやすい落とし穴を ChatGPT などの最新の AI と絡めながら網羅的かつ体系的に解説。

産経新聞 2023/08/13

2023:7./ 15p,222p,13p
978-4-535-78920-3
¥2,420〔税込〕

大東亜戦争秘録～掻き消された市井の人たちの生きざま、死にざま～

早坂 隆 著
育鵬社
大東亜戦争で戦った多くの兵士たちは元来、サラリーマンや教師、農家といった一般の人たちだった。彼らはどんな想いを胸に銃を取ったのか? 本人や遺族を丹念に取材した鎮魂のノンフィクション。

産経新聞 2023/08/13

2023:8./ 261p
978-4-594-09417-1
¥2,200〔税込〕

旅のたまゆら～1981-1988～

現代書館
この国の津々浦々に延ばされたささやかな鉄道が、その土地の生活に寄り添い、息づいた最後の時代-。1980 年代、若き写真家が旅してモノクロームのフイルムでとらえた、ローカル鉄道と沿線の暮らしの写真集。

産経新聞 2023/08/13

2023:8./ 183p
978-4-7684-5932-4
¥4,950〔税込〕

南北朝正閏問題～歴史をめぐる明治末の政争～(筑摩選書　0260)

千葉 功 著
筑摩書房
日本の南北朝時代において南朝と北朝のどちらが正統かをめぐる明治末の論争は、重大な政治問題と化した。深刻かつ複雑な南北朝正閏問題を徹底的に掘り下げて考察。そこから浮かびあがる近代日本の特質に迫る。

産経新聞 2023/08/13、日本経済新聞 2023/08/19

2023:7./ 254p
978-4-480-01779-6
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

小右記(角川ソフィア文庫　ビギナーズ・クラシックス A5-2)

倉本　一宏 編
藤原　実資 著
KADOKAWA
平安時代の公家で、故実に通じ「賢人右府」と称賛された藤原実資の日記。63 年に及ぶ膨大な記事から、男性貴族によって宮廷で執り行なわれた政務や儀式など、初心者にも面白い内容を精選。原文・訓読文・現代語訳を収録する。

産経新聞 2023/08/19

2023:7./ 776p
978-4-04-400726-3
¥1,980〔税込〕

さみしい夜にはペンを持て

古賀　史健 著
ポプラ社
学校にも居場所がなく、自分のことが大嫌いなタコジロー。ある日、不思議なヤドカリおじさんが、ひとりの夜をどう過ごせばいいのかを教えてくれて…。自分との人間関係を築く本。書くのが止まってしまったら開ける袋綴じ付き。

産経新聞 2023/08/19

2023:7./ 289p
978-4-591-17854-6
¥1,650〔税込〕

Z 世代のアメリカ(NHK 出版新書　700)

三牧 聖子 著
ＮＨＫ出版
綻ぶ超大国・アメリカで育った Z 世代は、今どのように政治や社会と対峙しているのか? 気鋭の国際政治学者が、Z 世代に生まれつつある新しい認識や動きに着目しながら、アメリカ社会の今と未来を描き出す。

産経新聞 2023/08/19、日本経済新聞 2023/08/19

2023:7./ 235p
978-4-14-088700-4
¥1,023〔税込〕

天災ものがたり

門井 慶喜 著
講談社
我々の祖先は、巨大な自然災害にいかに立ち向かい、生き抜いてきたのか…。武田信玄が、日本近世の防災上の出発点となった堤防を造るまでを描く「一国の国主」など全 6 篇を収録する。『小説現代』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/08/20

2023:7./ 348p
978-4-06-529779-7
¥1,980〔税込〕

異国の夢二(講談社選書メチエ 787)

ひろた まさき 著
講談社
「大正ロマン」を代表する竹久夢二は、最晩年に行ったアメリカ、ヨーロッパ、台湾をめぐる旅で何を見たのか。稀代の思想史家が、夢二の「外遊」がもつ意味を、豊富な資料を元にたどる。

産経新聞 2023/08/20

2023:6./ 345p
978-4-06-532346-5
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

氷室冴子とその時代　増補版

嵯峨 景子 著
河出書房新社
「雑居時代」「海がきこえる」などで支持を得、今も人気女性作家たちがその影響を公言する作家・氷室冴子。少女小説研究の第一人者が、資料調査と取材からその功績と志に迫る。各社担当編集者のインタビュー等を加えた増補版。

産経新聞 2023/08/20

2023:6./ 397p
978-4-309-03114-9
¥2,640〔税込〕

幽霊綺譚～ドイツ・ロマン派幻想短篇集～

ヨハン・アウグスト・アーペル／フリードリヒ・ラウン／ハインリヒ・クラウレン 著
国書刊行会
幽霊の花嫁、妖精の女王、死の舞踏、魔法の鏡、七里靴…初期英国ゴシックがドイツの深い森の伝説と結びつき、中世を再発見しドイツ・ロマン派となり花開く。グリム兄弟と同時代の、伝説の恐怖小説アンソロジー。

産経新聞 2023/08/20

2023:7./ 436p
978-4-336-07520-8
¥6,380〔税込〕

大坂城をめぐる人々～その事跡と生涯～

北川 央 著
創元社
天下人や武将たち、波乱の生涯をたどった女性たち、屏風絵に描かれた民衆…。大阪城天守閣前館長が、多彩な人々を通して大坂城にまつわる史実を多角的に描き出した書。数奇な運命に翻弄された、人と城の史伝 20 編を収録する。

産経新聞 2023/08/20

2023:6./ 215p
978-4-422-20183-2
¥2,750〔税込〕

給食が教えてくれたこと～「最高の献立」を作る、ぼくは学校栄養士～

松丸 奨 著
くもん出版
給食が大嫌いだった少年時代、全国学校給食甲子園で優勝、給食の向こうに見えた世界…。「最高においしい」給食を目指して、さまざまな壁に直面しながらも挑戦を続ける栄養士が、自身の仕事内容や半生を綴る。

産経新聞 2023/08/20

2023:7./ 191p
978-4-7743-3449-3
¥1,540〔税込〕

さみしいファントム

塚本敏雄 著
思潮社
洋の東西を問わず ファントムすなわち 亡霊に関する物語は流布する 人物の背景が火に包まれて 時間の規矩を失うとき はかない愛おしさだけがとめどなく 路上で影となって溶け出す(「さみしいファントム」より) 詩集。

産経新聞 2023/08/20

2023:5./ 91p
978-4-7837-4526-6
¥2,640〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ドーピングの歴史～なぜ終わらないのか、どうすればなくせるのか～

エイプリル・ヘニング／ポール・ディメオ 著
青土社
ドーピングにつきまとうスキャンダラスなイメージは、世界アンチ・ドーピング機構の独占的な権力やアスリートの窮状を覆い隠している。現行の防止策の限界を指摘し、センセーショナルに語られてきた逸話を丹念に洗い直す。

産経新聞 2023/08/20

2023:5./ 275p,2p
978-4-7917-7560-6
¥2,860〔税込〕

眠れる記憶

パトリック・モディアノ／山﨑美穂 著
作品社
老齢を迎えた語り手が、60 年代を生きた自らの激動の青年期を振り返りながら、記憶の奥底に眠っていた女性たちとの思い出を想起する、ノーベル文学賞受賞後初の作品となる表題作と、「隠顕インク」の 2 編を収録。

産経新聞 2023/08/20

2023:6./ 227p
978-4-86182-982-6
¥2,860〔税込〕

ソングレイン

四元　康祐 著
左右社
歌にうたれて ことばが舞い散ってゆく 道ばたの排水口に 消えてゆく 雲ひとつない空の青の向こうから 歌は音もなく染みだして 有ると無いの境に 降りそそぐ(「ソングレイン」より) 詩集。

産経新聞 2023/08/20

2023:8./ 165p
978-4-86528-382-2
¥2,200〔税込〕

おやつはうちで作るもの

有元 葉子 著
東京書籍
おやつ作りはおいしさだけでなく、記憶に残るウキウキした楽しさも連れてきます。ふんわりパンケーキ、すいかのソルベ、きんかんの甘煮、シュークリームなど、著者が繰り返し作ってきた定番おやつを紹介します。

産経新聞 2023/08/26

2023:4./ 111p
978-4-487-81604-0
¥1,870〔税込〕

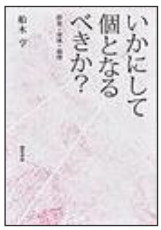
奇病庭園

川野 芽生 著
文藝春秋
額から角が伸びる老人、翼の生えた妊婦、ふさふさした尾をはやす少女たち、体内に真珠を宿す者。そして塔に囚われ、薬で眠らされたひとりの美しい少女の運命は…。幻想長編小説。『文學界』掲載に大幅に書き下ろしを加える。

産経新聞 2023/08/27

2023:8./ 240p
978-4-16-391734-4
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO



いかにして個となるべきか?～群衆・身体・倫理～

船木　亨 著
勁草書房
群れの中で生きるべきか? 個として自身の感性を貫くべきか? 和辻倫理学を超えて、群れのなかで自身の感性が個として思考されたものになる条件を論じ、その倫理的意義を問う。

産経新聞 2023/08/27

2023:6./ 11p,275p,4p
978-4-326-15486-9
¥3,520〔税込〕

「助けて」が言えない<子ども編>

松本 俊彦 編
日本評論社
ヤングケアラー、虐待、不登校、自傷、ゲーム依存…。様々な困難を抱えながらも容易に支援を求めない現代の中高生に関わる大人、そして本人たちへのメッセージを収録する。『こころの科学』226 号掲載を増補し書籍化。

産経新聞 2023/08/27

2023:7./ 285p
978-4-535-56424-4
¥1,870〔税込〕

毒殺の化学～世界を震撼させた 11 の毒～

ニール・ブラッドベリー 著
青土社
ヒ素、トリカブト、ストリキニーネ、青酸カリなど実際の毒殺事件に用いられた 11 の物質を紹介し、毒がいかにして人間の息の根を止めるのかを明らかにする。犯罪と化学、医学を掛け合わせたスリリングな科学ノンフィクション。

産経新聞 2023/08/27

2023:7./ 277p
978-4-7917-7573-6
¥2,640〔税込〕

江戸のフリーランス図鑑～出商いと町角の芸人たち～

飯田 泰子 著
芙蓉書房出版
往来を仕事場とした出商人、大道芸人と家々を廻る門付芸人…。江戸時代、しがらみのない生業についた人々の暮らしぶりを、当時の風俗誌から 200 余の職種を選んで図解。商人・芸人のほか、扱う商品、道具なども紹介。

産経新聞 2023/08/27

2023:6./ 205p
978-4-8295-0863-3
¥2,530〔税込〕

空から提言する新しい日本の防衛～日本の安全をアメリカに丸投げするな～

織田 邦夫 著
ワニブックス
日本を取り巻く戦後最悪の安全保障環境、台湾有事は日本有事…。元航空自衛隊空将が現場での経験を踏まえ、絵空事ではない「有事」をリアルにシミュレーションしつつ、日本が今なすべきことを考える。

産経新聞 2023/08/27

2023:8./ 222p
978-4-8470-7334-2
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

世界史とは何か～「歴史実践」のために～(岩波新書 新赤版 1919　シリーズ歴史総合を学ぶ 3)

小川 幸司 著
岩波書店
世界史とは何かについて、これまでの教育実践で生徒と一緒に考えたことを振り返り、それを「歴史総合」の授業を充実させる作戦(方法)として再定義。「歴史総合」が対象とする 18 世紀以降の近現代史の授業プランを構想する。

朝日新聞 2023/08/05

2023:6./ 270p
978-4-00-431919-1
¥1,100〔税込〕

シンセミア<上>(講談社文庫 あ 86-6)

阿部 和重 著
講談社
戦後日本。米軍の占領政策の一端を担ったパン屋とヤクザ、田宮家と麻生家は神町で絶大な勢力となり、息子の代になっても両家の固い結びつきは続いていた。あの事件が起きた炎熱の夏までは…。神町トリロジー第 1 部。

朝日新聞 2023/08/05

2013:5./ 487p
978-4-06-277548-9
¥1,078〔税込〕

シンセミア<下>(講談社文庫 あ 86-7)

阿部 和重 著
講談社
未曾有の洪水に襲われ水没した神町。二つの死体と共に、終戦直後にこの町で起きた忌まわしい惨劇が浮かび上がる。不穏な噂が町を覆い尽くし、やがてそれは町を二分する勢力の全面抗争へ…。神町トリロジー第 1 部。

朝日新聞 2023/08/05

2013:5./ 511p
978-4-06-277549-6
¥1,100〔税込〕

ミチクサ先生<上>(講談社文庫 い 63-29)

伊集院 静 著
講談社
夏目家の「恥かきっ子」として生まれてすぐに里子に出された金之助は、祖父の影響で子どもの頃から寄席や芝居に通う。学校では飛び級するほどの好成績で、東大予備門に合格。そして正岡子規と出逢い…。夏目漱石の青春を描く。

朝日新聞 2023/08/05

2023:7./ 408p
978-4-06-531852-2
¥913〔税込〕

ミチクサ先生<下>(講談社文庫 い 63-30)

伊集院 静 著
講談社
夏目金之助は、英語教師として赴任した熊本で妻・鏡子を迎えて、新婚生活を開始。金之助の英国留学中に子規が病死する。帰国後、高浜虚子の依頼で書いた「吾輩は猫である」が大評判となり…。夏目漱石の青春を描く。

朝日新聞 2023/08/05

2023:7./ 400p
978-4-06-531853-9
¥913〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

がいなもん 松浦武四郎一代(小学館文庫 か 4-9)

河治 和香 著
小学館
蝦夷地を 6 回にわたって踏破し、多数のアイヌの地名を記録。吉田松陰らの蝦夷地アドバイザーを務め、古稀記念に富士登山! 傑物にして奇人、“北海道の名付け親”松浦武四郎の生涯を描く。

朝日新聞 2023/08/05

2023:7./ 373p
978-4-09-407275-4
¥858〔税込〕

砂の女 改版(新潮文庫)

安部 公房 著
新潮社
朝日新聞 2023/08/05

2003:3./ 276p
978-4-10-112115-4
¥693〔税込〕

すべてはエマのために(新潮文庫 nex つ-37-6)

月原 渉 著
新潮社
ルーマニアの首都ブカレスト。リサとエマの姉妹は、ドイツ軍の侵攻から逃れるために地下水道に迷い込み、その深奥で、傷ついたルーマニア兵と出会う。2 年後、看護婦になったリサに、ある名家から仕事の依頼が届き…。

朝日新聞 2023/08/05

2023:7./ 328p
978-4-10-180266-4
¥781〔税込〕

墨のゆらめき

三浦 しをん 著
新潮社
都内の老舗ホテルに勤務する続力は、招待状の宛名書きを依頼しに書家の遠田薫を訪ね、なぜか副業の手紙の代筆を手伝うことに。あらゆる筆跡を自在に書き分ける遠田と接するうち、続は文字が放つきらめきに魅せられていく。

朝日新聞 2023/08/05

2023:5./ 225p
978-4-10-454108-9
¥1,760〔税込〕

災害の日本近代史～大凶作、風水害、噴火、関東大震災と国際関係～(中公新書 2762)

土田宏成 著
中央公論新社
東北大凶作、関東大水害、桜島大噴火、関東大震災…。自然の猛威によって膨大な被災者を出していた 100 年前の日本。巨大災害の実態から、対応、復興、影響、国際関係まで、民衆と国家の双方の視点から日本近代の現実を描く。

朝日新聞 2023/08/05

2023:7./ 4p,216p
978-4-12-102762-7
¥902〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

盤上の向日葵<上>(中公文庫　ゆ 6-1)

柚月 裕子 著

中央公論新社

平成 6 年、身元不明の白骨死体が発見される。遺留品は名匠の将棋駒。刑事の石破と佐野は駒の足取りを追って日本各地に飛ぶ。折しも将棋界では、実業界から転身した異端の天才棋士・上条桂介が世紀の一戦に挑もうとしていた…。

朝日新聞 2023/08/05

2020:9./ 342p
978-4-12-206940-4
¥770〔税込〕

盤上の向日葵<下>(中公文庫　ゆ 6-2)

柚月 裕子 著

中央公論新社

昭和 55 年、棋士への夢を断った上条桂介は、駒打つ音に誘われて将棋道場に足を踏み入れる。そこで出会ったのは、伝説の真剣師・東明重慶だった。死体遺棄事件の捜査線上に、桂介と東明の壮絶すぎる歩みが浮かび上がり…。

朝日新聞 2023/08/05

2020:9./ 322p
978-4-12-206941-1
¥748〔税込〕

ウクライナ戦争はなぜ終わらないのか～デジタル時代の総力戦～(文春新書 1404)

高橋杉雄編著 著

文藝春秋

ウクライナ戦争以後、戦争はどう変わったのか? 核は使われるのか? 米中という「大国間競争」の時代に、抑止の破綻として引き起こされた戦争の内実を多角的に分析し、戦争終結に向かうシナリオを示す。

朝日新聞 2023/08/05

2023:6./ 253p
978-4-16-661404-2
¥1,045〔税込〕

蟬しぐれ<上>(文春文庫　ふ 1-63)

藤沢 周平 著

文藝春秋

海坂藩普請組牧家の跡取り・文四郎は、15 歳の初夏を迎えていた。淡い恋、友情、突然一家を襲う悲運と忍苦。苛烈な運命に翻弄されつつ成長してゆく少年藩士の姿を描いた、傑作長篇小説。

朝日新聞 2023/08/05

2017:1./ 302p
978-4-16-790773-0
¥748〔税込〕

蟬しぐれ<下>(文春文庫　ふ 1-64)

藤沢 周平 著

文藝春秋

18 歳の秋、思いがけない人物より秘剣を伝授された文四郎。前途に光が射しはじめるなか、妻をめとり城勤めに精をだす日々。そこへ江戸にいるお福さまの消息が届き…。時代を越えて読み継がれる、藤沢文学の金字塔。

朝日新聞 2023/08/05

2017:1./ 284p
978-4-16-790774-7
¥748〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

月山・鳥海山　新装版(文春文庫　も 2-2)

森 敦 著
文藝春秋
月山の麓にある注連寺に居候した「わたし」は、現世と隔離されたような村で冬を越す。此の世ならぬ幽明の世界を描いた芥川賞受賞作「月山」をはじめ、「天沼」「光陰」など、全 7 篇を収録する。

朝日新聞 2023/08/05

2017:7./ 371p
978-4-16-790885-0
¥924〔税込〕

三省堂国語辞典から消えたことば辞典

見坊 行徳／三省堂編修所 著
三省堂
歴代の「三省堂国語辞典」とその前身「明解国語辞典」から削除された 1000 項目をピックアップし、当時の紙面のまま拡大して収録。全項目に脚注を付し、「コギャル」「メーンエベント」など 15 項目は時代背景を解説。

朝日新聞 2023/08/05

2023:4./ 240p,16p
978-4-385-36624-1
¥2,090〔税込〕

向日葵を手折る(実業之日本社文庫　あ 29-1)

彩坂　美月 著
実業之日本社
父親が突然亡くなり、山形の山あいの集落に引っ越した小学校 6 年生の高橋みのり。あざやかに季節がめぐる彼女の 4 年間と不穏な事件の行方を、繊細な筆致で描いた成長物語。

朝日新聞 2023/08/05

2023:6./ 510p
978-4-408-55809-7
¥990〔税込〕

進化が同性愛を用意した～ジェンダーの生物学～

坂口 菊恵 著
創元社
1500 種を超える動物で、同性間の性行動が観察されている。なぜ同性間性行動がこれほど盛んなのか? どうしてヒトの社会では同性愛が抑圧されてきたのか? 性の多様性の本当の意味を明らかにする。

朝日新聞 2023/08/05

2023:6./ 223p
978-4-422-43046-1
¥1,760〔税込〕

東京史～七つのテーマで巨大都市を読み解く～(ちくま新書　1727)

源川　真希 著
筑摩書房
明治維新による誕生から今日までの約 150 年間、破壊と再生を繰り返しダイナミックに発展してきた東京。いまや世界的都市となった東京を様々な角度から見つめ、読み解き、その歴史を一望する。

朝日新聞 2023/08/05

2023:5./ 279p
978-4-480-07552-9
¥990〔税込〕

論点・ジェンダー史学

山口　みどり／弓削　尚子／後藤　絵美／長　志珠絵／石川　照子 編
ミネルヴァ書房
歴史学に新しい地平を開いてきたジェンダー史研究。クルアーン、列女伝からジャニーズまで、113 の論点を最新の研究動向に照らし、概要(当時の議論・その後の展開)、探究のポイントとともに見開きページで解説する。

朝日新聞 2023/08/05

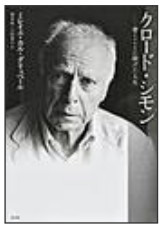
2023:6./ 8p,303p
978-4-623-09350-2
¥3,520〔税込〕

女性の自立をはばむもの～「主婦」という生き方と新宗教の家族観～

いのうえ せつこ 著
花伝社
主婦たちが「新宗教」に魅了された 80 年代から現在に至るまで、この国の「女性の自立」をめぐって何が起き、新宗教の家族観はそこにどのように影響を及ぼしてきたのかを考察。女性の貧困、著者の父の「妾」をめぐる旅も収録。

朝日新聞 2023/08/05

2023:5./ 154p
978-4-7634-2062-6
¥1,650〔税込〕



クロード・シモン～書くことに捧げた人生～

ミレイユ・カル＝グリュベール 著
水声社
難解な作風で知られるノーベル文学賞受賞作家クロード・シモンの伝記。手記や創作ノート、絵画作品や写真、伯母の手帳など、さまざまな資料を検証し、作品と突き合わせながら、作家の人生の軌跡を描破する。

朝日新聞 2023/08/05

2023:6./ 407p 図版 32p
978-4-8010-0562-4
¥7,700〔税込〕

評伝ロラン・バルト

ティフェーヌ・サモワイヨ 著
水声社
気鋭の研究者による、フランスの批評家・思想家「ロラン・バルト」の伝記。バルトの友人・知人への詳細な聞き取りだけでなく、草稿や私信などを丁寧に調査し、これまで知られていなかった数々の事実を紹介する。

朝日新聞 2023/08/05

2023:6./ 615p
978-4-8010-0717-8
¥9,900〔税込〕

ゆくかは

安藤正子 著
青幻舎
初作品集の刊行から 8 年、変わりゆく安藤正子と日々、その続き。新たに描かれた水彩や木炭のドローイング、陶作品、油彩画を含む 60 点を収録する。インタビューも掲載。2023 年 7～9 月開催「安藤正子展ゆくかは」の図録。

朝日新聞 2023/08/05

2023:7./ 127p
978-4-86152-912-2
¥3,850〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

東東京区区<1>(路草 COMICS)

かつしかけいた 著
トゥーヴァージンズ
「東京には“東”がある」 ムスリムの大学生・サラ、エチオピア人の両親を持つ小学生のセラム、不登校の中学生・春太。ルーツも年齢も区区(まちまち)な 3 人が東東京を歩き、新たな街の魅力を見つけ出す地元発見冒険譚!

朝日新聞 2023/08/05

2023:7./ 154p
978-4-910352-67-1
¥1,210〔税込〕

ハンチバック

市川 沙央 著
文藝春秋
重度障害者の井沢釈華は、10 畳の自室からあらゆる言葉を送り出す。釈華の背骨は、右肺を押し潰すかたちで極度に湾曲し、生きれば生きるほど、身体はいびつに壊れていき…。『文學界』掲載を書籍化。

朝日新聞 2023/08/05、日本経済新聞 2023/08/05

2023:6./ 93p
978-4-16-391712-2
¥1,430〔税込〕

隠れ家と広場～移民都市アムステルダムのユダヤ人～

水島治郎 著
みすず書房
かつてアンネ・フランクやスピノザが住んだアムステルダムは、歴史的に難民に寛容で、ユダヤ人を支援するレジスタンスが盛んな街だった。その背景を「隠れ家」と「広場」を軸に探る。『みすず』連載等を単行本化。

朝日新聞 2023/08/05、日本経済新聞 2023/08/12

2023:6./ 222p,20p
978-4-622-09558-3
¥3,960〔税込〕

寺山修司とポスター貼りと。～僕のありえない人生～(角川文庫(日本の作品)て 1-52)

笹目 浩之 著
角川書店
寺山修司の演劇と出会い、公演のポスター貼りをきっかけに、ポスターを貼ることを生業とすることに決めた著者の人生は、寺山に導かれて大きく変わっていき…。ポスター、演劇、そして寺山修司を愛する人々の姿を綴る。

朝日新聞 2023/08/12

2013:4./ 222p
978-4-04-100829-4
¥704〔税込〕

未完の天才南方熊楠(講談社現代新書 2710)

志村 真幸 著
講談社
驚くべき才能を多方面に発揮しながら、その仕事のほとんどが未完に終わった南方熊楠。なぜ熊楠は完成を嫌ったのか? 最新の研究成果や新発見資料から熊楠の生涯を辿るとともに、その天才性と未完成の謎に迫る。

朝日新聞 2023/08/12

2023:6./ 255p
978-4-06-532636-7
¥1,034〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

木挽町のあだ討ち

永井 紗耶子 著
新潮社
雪の降る夜、芝居小屋のすぐそばで、美しい若衆によるみごとな仇討ちが成し遂げられた。2 年後、ある若侍が大事件の顛末を聞きたいと木挽町を訪れる。芝居者たちの話から炙り出される真相は…。『小説新潮』掲載を書籍化。

朝日新聞 2023/08/12

2023:1./ 267p
978-4-10-352023-8
¥1,870〔税込〕

御成敗式目～鎌倉武士の法と生活～(中公新書　2761)

佐藤雄基 著
中央公論新社
初の武家法として名高い「御成敗式目」はどのように生まれ、なぜ広く知れ渡ったのか。主要な条文を詳しく解説し、受容の実態や後世への影響を視野に、知られざる実像を明かす。51 か条の条文の書き下しも収録。

朝日新聞 2023/08/12

2023:7./ 6p,278p
978-4-12-102761-0
¥1,012〔税込〕

赤目四十八滝心中未遂(文春文庫)

車谷 長吉 著
文芸春秋
「私」はモツを串に刺し続けた。女の背中には迦陵頻迦の刺青があった……。救いのない人間の業と情念を見事な文章と技法で描く傑作

朝日新聞 2023/08/12

2001:2./ 280p
978-4-16-765401-6
¥682〔税込〕

薬物依存症の日々(文春文庫　き 48-2)

清原 和博 著
文藝春秋
覚醒剤取締法違反による衝撃の逮捕。執行猶予満了を前に、薬物依存症の想像を絶する苦しみ、自殺願望、うつ病との戦い、そして家族との再会を、清原和博がありのままに語ったノンフィクション。

朝日新聞 2023/08/12

2023:8./ 247p
978-4-16-792087-6
¥825〔税込〕

もしもし、アッコちゃん?～漫画と電話とチキン南蛮～

東村アキコ 著
光文社
電電公社勤めの一族に生まれ、漫画が大好きで漫画家を目指したアッコちゃんは…。アッコちゃんの成長をタテ糸に、日本の人気少女漫画の変遷と電話の進化をヨコ糸に、昭和末期から令和までの著者の半生を“笑い”とともに描く。

朝日新聞 2023/08/12

2023:7./ 227p
978-4-334-95388-1
¥1,540〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

日本人が知らない戦争の話～アジアが語る戦場の記憶～(ちくま新書　1736)

山下 清海 著
筑摩書房
シンガポールにおける粛清、「戦場にかける橋」で出会った元英兵捕虜、帰国できなかった中国残留孤児…。長年アジアに残る戦争の記憶に耳を傾けてきた地理学者が、あまりにも理不尽な戦争の現実を明らかにする。

朝日新聞 2023/08/12

2023:7./ 218p
978-4-480-07568-0
¥968〔税込〕

虐殺のスイッチ～一人すら殺せない人が、なぜ多くの人を殺せるのか?～(ちくま文庫　も 19-3)

森 達也 著
筑摩書房
歴史で、世界で繰り返し起きている虐殺事件。なぜごく普通の善良な市民が、同じように普通の人をいとも簡単に殺すのか、しかも大量に。集団が熱狂し変異して起きる虐殺のメカニズムを考える。

朝日新聞 2023/08/12

2023:7./ 232p
978-4-480-43881-2
¥858〔税込〕

通訳者と戦争犯罪

武田珂代子 著
みすず書房
自らの伝えた言葉によって他者が拷問や虐待にさらされる時、通訳者は中立性を保てるのか? 太平洋戦争後の対日戦犯裁判やイラク、アフガンなどの事例から、戦争・紛争下の通訳者が直面するリスクと倫理的選択について論じる。

朝日新聞 2023/08/12

2023:6./ 5p,282p,26p
978-4-622-09617-7
¥4,950〔税込〕

時の雨

高橋　順子 著
青土社
晩い結婚の歓びも束の間、強迫神経症を発病した小説家の夫。呪われた実生活に材を得ながら、私詩であることを超え、詩の可能性を問いながら、存在の淵にいざなう記録。現代詩花椿賞受賞の詩人が新しい境地を切り拓く。

朝日新聞 2023/08/12

1996:11./ 93p
978-4-7917-2085-9
¥2,420〔税込〕

ガラスの帽子

ナヴァ・セメル 著
東宣出版
1942 年の強制連行から約 3 年間の収容所生活とロシア軍による解放を綴った表題作など、ホロコースト生還者とその次世代がかかえる心の傷を、詩情を湛えた文体でリアリスティックに描いた短篇集。全 9 篇を収録。

朝日新聞 2023/08/12

2023:6./ 205p
978-4-88588-111-4
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

うどん陣営の受難(100 min.NOVELLA)

津村 記久子 著

Ｕ－ＮＥＸＴ

4 年ごとに開かれる会社の代表選挙で、現社長は手堅い保守層の支持を集め、対抗馬は過激なスローガンを掲げる。両陣営の醜聞合戦、囲い込み工作…。社内政治の面倒臭さをリアルにコミカルに描いた中編小説。電子書籍を書籍化。

朝日新聞 2023/08/12

2023:7./ 103p
978-4-910207-83-4
¥990〔税込〕

山は輝いていた～登る表現者たち十三人の断章～(新潮文庫　か-96-1)

神長 幹雄 編

新潮社

高尾の花に亡き父を重ねる田中澄江、深田久弥が死の際に見た早春の峰の光景…。静かな山旅から命を削る凍てついたヒマラヤの氷壁まで、登山史に刻まれる名文を厳選し、人が山に登る理由を探る。文庫オリジナル・アンソロジー。

朝日新聞 2023/08/12、日本経済新聞 2023/08/12

2023:8./ 295p
978-4-10-104611-2
¥737〔税込〕

フキダシ論～マンガの声と身体～

細馬宏通 著

青土社

人はいかにしてマンガのなかの出来事に注意を向け、物語を読みとっているのか。コマやフキダシ・記号を丁寧に紐解き、人がマンガの世界観に入り込めるカラクリに迫る。ブログに書き下ろしを加え書籍化。

朝日新聞 2023/08/12、日本経済新聞 2023/08/19

2023:6./ 274p,11p
978-4-7917-7563-7
¥2,200〔税込〕

ルクレツィアの肖像(CREST BOOKS)

マギー・オファーレル 著

新潮社

16 世紀のフィレンツェに生まれたルクレツィアは、フェラーラ公アルフォンソ 2 世に嫁ぐことになった。世継ぎの誕生を強く望む夫に、ルクレツィアの身体は所有されていくが…。歴史の陰に確かに存在した女性の「生」を描く。

朝日新聞 2023/08/12、毎日新聞 2023/08/12

2023:6./ 447p
978-4-10-590189-9
¥3,080〔税込〕

被差別部落に生まれて～石川一雄が語る狭山事件～

黒川 みどり 著

岩波書店

戦後を代表する冤罪事件「狭山事件」。被差別部落に生まれた、ただそれだけの理由で石川一雄は殺人犯として逮捕された。彼の半生を辿りながら、部落差別が冤罪を生み出したことを明らかにする。

朝日新聞 2023/08/19

2023:5./ 13p,275p
978-4-00-024550-0
¥2,750〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

俊徳丸・小栗判官～説経節～(岩波文庫 30-286-1)

兵藤 裕己 著
岩波書店
<病>を得た俊徳丸をかつぎ歩く乙姫、冥途から蘇った小栗判官を土車に乗せて引く照手姫…。かつて大道の語り芸として行われた「説教節」の演目から、後世の文学・芸能に特に大きな影響を与えた 5 作品を収録する。

朝日新聞 2023/08/19

2023:7./ 397p
978-4-00-302861-2
¥1,210〔税込〕

中学校の授業でネット中傷を考えた～指先ひとつで加害者にならないために～

宇多川 はるか 著
講談社
ネット上のデマに苦しめられた体験を綴った書籍に、開成中学校の生徒たちが真剣に向き合った全 6 回の授業を完全再現。ネット上で暴言を受け、自ら命を絶った木村花の母による小学校での特別授業も収録。

朝日新聞 2023/08/19

2023:7./ 188p
978-4-06-532243-7
¥1,540〔税込〕

「山上徹也」とは何者だったのか(講談社+α 新書 868-1C)

鈴木 エイト 著
講談社
2022 年 7 月 8 日、山上徹也は演説中の安倍晋三元首相を背後から銃撃した。安倍晋三と統一教会は彼に何をしたのか、彼は何を成し遂げようとしたのか-。いまだ謎に包まれた事件の深層を解き明かす。

朝日新聞 2023/08/19

2023:7./ 232p
978-4-06-532872-9
¥990〔税込〕

声をあげて

五ノ井 里奈 著
小学館
震災を契機に自衛官を夢見た少女は、入隊後、絶望を味わった。訓練中の性暴力を報告するも自衛隊は黙殺。そして彼女は実名・顔出しでメディアに訴えることを決意したが…。日本中に勇気を与えた女性の記録。

朝日新聞 2023/08/19

2023:5./ 230p,9p
978-4-09-389104-2
¥1,650〔税込〕

複合汚染　改版(新潮文庫)

有吉　佐和子 著
新潮社
朝日新聞 2023/08/19

2002:5./ 621p
978-4-10-113212-9
¥990〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

恍惚の人　改版(新潮文庫)

有吉 佐和子 著
新潮社
朝日新聞 2023/08/19

2003:2./ 437p
978-4-10-113218-1
¥935〔税込〕

沈黙の勇者たち～ユダヤ人を救ったドイツ市民の戦い～(新潮選書)

岡 典子 著
新潮社
収容所送りを逃れて潜伏したユダヤ人のうち、約半数の 5000 人が生きて終戦を迎えられたのはなぜか。反ナチ抵抗組織だけでなく、娼婦や農場主といった無名のドイツ市民による救援活動の驚くべき実態を描き出す。

朝日新聞 2023/08/19

2023:5./ 283p
978-4-10-603899-0
¥1,925〔税込〕

クララとお日さま(ハヤカワ epi 文庫 109)

カズオ・イシグロ 著
早川書房
人工知能を搭載したロボットのクララは、ジョジーという病弱な少女の家庭に買い取られた。やがて 2 人は友情を育んでいくが、一家には大きな秘密があった…。愛とは? 知性とは? 家族とは? 生きることの意味を問う感動作。

朝日新聞 2023/08/19

2023:7./ 490p
978-4-15-120109-7
¥1,650〔税込〕

何気ない日常をアニメチックに。

エムディエヌコーポレーション
“何気ない日常の風景”は、だれかにとっての懐かしい物語。アニメチックに表現された風景写真をテーマごとに収録し、Adobe Lightroom などを用いた加工メイキングも掲載。

朝日新聞 2023/08/19

2023:4./ 159p
978-4-295-20510-4
¥2,200〔税込〕

非色(河出文庫　あ 35-1)

有吉 佐和子 著
河出書房新社
終戦直後黒人兵と結婚し、幼い子を連れニューヨークに渡った笑子だが、待っていたのは貧民街ハアレムでの半地下生活だった。人種差別と偏見にあいながらも、「差別とは何か?」を問い続け、逞しく生き方を模索し…。

朝日新聞 2023/08/19

2020:11./ 420p
978-4-309-41781-3
¥990〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

こびとが打ち上げた小さなボール(河出文庫　チ 8-1)

チョ・セヒ 著
河出書房新社
お父ちゃんをこびとなんて言った悪者は、みんな、殺してしまえばいいのよ-。70 年代ソウル。急速な都市開発を巡り、極限まで虐げられた者たちの千年の怒りが渦巻く祈りの物語。四半世紀にわたり韓国で読まれるロングセラー。

朝日新聞 2023/08/19

2023:7./ 443p
978-4-309-46784-9
¥1,430〔税込〕

1973 年に生まれて～団塊ジュニア世代の半世紀～

速水 健朗 著
東京書籍
50 代に突入した 1973 年生まれの団塊ジュニア世代。彼らが生きてきた 1970 年代から 2020 年代にわたる、日本社会、メディア、生活の変遷を、圧巻の構想力と詳細なディテールで描く年代記。

朝日新聞 2023/08/19

2023:7./ 271p
978-4-487-81468-8
¥1,540〔税込〕

何かが道をやってくる(創元 SF 文庫 SF フ 1-1)

レイ・ブラッドベリ 著
東京創元社
その年、ハロウィーンはいつもより早くやってきた。そしてジムとウィル、ふたりの 13 歳の少年は、一夜のうちに永久に子供ではなくなった。魔女の徘徊する悪夢の世界が現出する、ファンタジー。著者自身によるあとがきを付す。

朝日新聞 2023/08/19

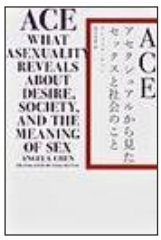
2023:7./ 412p
978-4-488-61207-8
¥1,210〔税込〕

ガストロノミーツーリズム～食文化と観光地域づくり～

尾家 建生／高田 剛司／杉山 尚美 著
学芸出版社
ぜいたくな美食の提供ではなく、地域の誇るべき食を文化として体験していただくことが、コロナ後の観光振興の決め手。観光地の経済に貢献できる観光「ガストロノミーツーリズム」の考え方と先進事例を紹介する。

朝日新聞 2023/08/19

2023:7./ 187p
978-4-7615-2855-3
¥2,420〔税込〕



ACE～アセクシュアルから見たセックスと社会のこと～

アンジェラ・チェン、羽生　有希 著
左右社
恋愛、障害、フェミニズム、男らしさ、アイデンティティ…。アロマンティック・アセクシュアルの著者が、「他者に性的に惹かれない」というアセクシュアル(エース)の視点から、“私たち”の常識を揺さぶるルポエッセイ。

朝日新聞 2023/08/19

2023:5./ 411p,29p
978-4-86528-366-2
¥2,750〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

カデギ～物流倉庫でミックスコーヒーをがぶ飲みしながら働いた話～(Korocolor's GraphicNovel with Basue 002)

イ・ジョンチョル 著

ころから

物流倉庫でのバイトで生計を立てている、漫画家を目指すパダ。トラックで運ばれてくる積み荷をおろす作業を業界では「カデギ」と呼び、「地獄のバイト」として知られ…。6 年間の底辺労働から見えてきた韓国社会を漫画で描く。

朝日新聞 2023/08/19

2023:7./ 287p
978-4-907239-68-8
¥2,750〔税込〕

ウィッピング・ガール～トランスの女性はなぜ叩かれるのか～

ジュリア・セラーノ 著

サウザンブックス社

女性性を表現する MTF のトランスジェンダーの女性がスケープゴート化されている。トランスジェンダーの女性をウィッピングし続けるメディア、アカデミズム、作家、医療体制、社会、えせフェミニズムを徹底追及する。

朝日新聞 2023/08/19

2023:5./ 430p
978-4-909125-40-8
¥2,970〔税込〕

戦国日本を見た中国人～海の物語『日本一鑑』を読む～(講談社選書メチエ 788)

上田 信 著

講談社

日中関係が緊迫していた 16 世紀なかば、来日した明の鄭舜功は庶民の生活習慣から日本刀の精神性、男女の人口比まで、公平に観察し「日本一鑑」を著した。そのルポルタージュから、当時の日本人の姿や感性を読み解く。

朝日新聞 2023/08/19、毎日新聞 2023/08/19

2023:7./ 245p
978-4-06-532574-2
¥1,870〔税込〕

なぜヒトだけが老いるのか(講談社現代新書　2707)

小林 武彦 著

講談社

人間以外の生物は老いずに死ぬ。ヒトだけが獲得した「長い老後」には重要な意味があった! さまざまな生物との比較から、ヒトにしかない「老い」の正体を考え、長い老後をどのように過ごしていくのが良いのかを示す。

朝日新聞 2023/08/19、毎日新聞 2023/08/19

2023:6./ 222p
978-4-06-532640-4
¥990〔税込〕

見ること

ジョゼ・サラマーゴ 著

河出書房新社

突然目が見えなくなる感染症が流行した 4 年後、同じ国の首都の総選挙で大量の白票が投じられる。政府は非常事態宣言を発し、首都を封鎖する。政府組織が市外に脱出する一方、首都では市民たちの自治が始まるが…。

朝日新聞 2023/08/25

2023:7./ 300p
978-4-309-20886-2
¥3,520〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

未来散歩練習(エクス・リブリス)

パク・ソルメ 著

白水社

光州事件、釜山アメリカ文化院放火事件からの時間を、歩きながら思索し、つながりあう 5 人の女性たち。社会問題に独創的な想像力で対峙する韓国の新鋭作家が、今を生きる・過去を理解する・未来を思うことを重層的に描く物語。

朝日新聞 2023/08/25、毎日新聞 2023/08/26

2023:7./ 230p
978-4-560-09085-5
¥2,310〔税込〕

占領下の女性たち～日本と満洲の性暴力・性売買・「親密な交際」～

平井 和子 著

岩波書店

占領下におかれた日本本土と満洲では、国家や共同体により同時進行的に「性の防波堤」が形成され、多くの日本人女性が駆り出された。戦後史のなかに黙殺されてきた被害女性たちの生き様を貴重な資料と証言から詳らかにする。

朝日新聞 2023/08/26

2023:6./ 10p,329p
978-4-00-061601-0
¥3,300〔税込〕

私の沖縄現代史～米軍支配時代を日本で生きて～(岩波現代文庫　社会 303)

新崎　盛暉 著

岩波書店

沖縄現代史研究と市民運動を長年牽引してきた新崎盛暉の、日本(ヤマト)にいながら「沖縄を生きた」前半生の回顧録。日中戦争勃発前年に生まれ、復帰後まもない沖縄に移住するまでの軌跡と共に、激動の戦後史を描く。

朝日新聞 2023/08/26

2017:1./ 9p,280p,6p
978-4-00-603303-3
¥1,078〔税込〕

処刑台広場の女(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 509-1)

マーティン・エドワーズ 著

早川書房

1930 年、ロンドン。名探偵レイチェルには、自分が突きとめた殺人者を死に追いやるという黒い噂がつきまとっていた。新聞記者ジェイコブは、レイチェルの秘密を暴こうとするが不可解な事件に巻き込まれ…。

朝日新聞 2023/08/26

2023:8./ 591p
978-4-15-185651-8
¥1,320〔税込〕

家政婦の歴史(文春新書　1414)

濱口 桂一郎 著

文藝春秋

「家庭のなかの労働者」である家政婦はいつ誕生したのか。1910 年代末、ある女性が創始したニュービジネス「派出婦会」の成功、GHQ の「正義の刃」によって狂わされた運命の歯車など、100 年余の捩れた歴史を辿る。

朝日新聞 2023/08/26

2023:7./ 255p
978-4-16-661414-1
¥1,100〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

熱源(文春文庫　か 80-2)

川越 宗一 著
文藝春秋
日本人にされそうになったアイヌと、ロシア人にされそうになったポーランド人。文明を押し付けられ、同化政策によりアイデンティティをも揺るがされた二人の<熱>と<軌跡>を描く、冒険歴史小説。

朝日新聞 2023/08/26

2022:7./ 490p
978-4-16-791902-3
¥902〔税込〕

おれたちの歌をうたえ(文春文庫　こ 51-1)

呉 勝浩 著
文藝春秋
友が遺した五行の詩。連絡を待ちわびていた元刑事は、それが自分達への伝言だと気づく。40 年前のあの日の真実を求めて、執念の捜査が始まった-。友情を諦めなかった男たちの、悔恨と希望の物語。

朝日新聞 2023/08/26

2023:8./ 679p
978-4-16-792084-5
¥1,419〔税込〕

図書館がくれた宝物

ケイト・アルバス 著
徳間書店
親代わりになってくれる人を探すために疎開した両親のいないきょうだい。疎開先の厳しい日々、3 人にとって、村の図書館だけが救いだった-。第二次大戦下、ロンドンから疎開したきょうだいの心あたたまる物語。

朝日新聞 2023/08/26

2023:7./ 381p
978-4-19-865665-2
¥2,090〔税込〕

資本主義は私たちをなぜ幸せにしないのか(ちくま新書　1740)

ナンシー・フレイザー／江口 泰子 著
筑摩書房
なぜ経済が発展しても豊かになれないのか。それは、資本主義が生活や自然といった存立基盤を喰い物にすることで肥大化する矛盾に満ちたシステムだからである-。世界的政治学者がそのメカニズムを根源から批判する。

朝日新聞 2023/08/26

2023:8./ 313p
978-4-480-07565-9
¥1,210〔税込〕

8 つの完璧な殺人(創元推理文庫 M ス 16-5)

ピーター・スワンソン 著
東京創元社
ミルン「赤い館の秘密」、クリスティ「ABC 殺人事件」…。ミステリー専門書店主マルコムが“完璧な殺人”が登場する犯罪小説としてブログに掲載した 8 作品。それらの作品の手口に似た殺人事件が続き…。

朝日新聞 2023/08/26

2023:8./ 403p
978-4-488-17309-8
¥1,210〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

もぐらけんせつ～りすさんいっかの木のおうち～(絵本・こどものひろば)

長崎　真悟 著
童心社
ブルドーザー、ショベルカー、クレーン車…。たくさんの重機を使って安全第一でお仕事をする「もぐらけんせつ」。今日は、かたむいたりすさん一家の家をなおします。たてものが出来ていく過程が楽しめる絵本。

朝日新聞 2023/08/26

2023:7./ 32p
978-4-494-01588-7
¥1,430〔税込〕

民主主義の危機～比較分析が示す変容～

アダム・プシェヴォスキ 著
白水社
何が前例なきことなのか? 何が起こり、何が起こりえないのか? 過去 200 年間の多様かつ詳細なデータを用いて、いまデモクラシーに何が起きているのかを徹底的に解明する。比較政治学の世界的権威による最新診断。

朝日新聞 2023/08/26

2023:7./ 218p,22p
978-4-560-09358-0
¥2,640〔税込〕

沖縄文学選～日本文学のエッジからの問い～

岡本　恵徳、高橋　敏夫 著
勉誠出版
沖縄文学の全体像を俯瞰する初のアンソロジー。近代、アメリカ統治下、復帰後、90 年代以降の 4 つに区分し特に重要な作品を選んで収録するとともに、本土と沖縄の関係について解説。本土中心の近代文学の常識をくつがえす。

朝日新聞 2023/08/26

2003:5./ 430p
978-4-585-09041-0
¥2,860〔税込〕

中野好夫論～「全き人」の全仕事をめぐって～

岡村 俊明 著
法政大学出版局
戦後日本を代表する翻訳者・文学者であり、いかなる権威にも媚びない在野的知識人であった中野好夫。その膨大な著作群をどう読むべきか。英文学研究から市民運動に及ぶその仕事の全体像を、彼自身の言葉を通して振り返る。

朝日新聞 2023/08/26

2023:6./ 22p,544p,12p
978-4-588-46021-0
¥5,170〔税込〕

図書館のお夜食

原田　ひ香 著
ポプラ社
亡くなった作家の蔵書が集められた「夜の図書館」を SNS で知った乙葉。実在の本に登場する料理がまかないとして出てくる夜の図書館で、本好きの同僚に囲まれながら働きはじめるが…。『WEB asta*』連載を加筆修正。

朝日新聞 2023/08/26

2023:6./ 319p
978-4-591-17824-9
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

無目的～行き当たりばったりの思想～

トム・ルッツ 著
青土社
無目的は我々を自由にする-。人間の基本的な性癖「無目的」を創造性の源として、効率的な思考や生産性の要求に対抗できるものとして擁護する著者の深い学識が、予期せぬ場所へ読者を導く書。無目的がテーマの短い文章で構成。

朝日新聞 2023/08/26

2023:7./ 197p
978-4-7917-7574-3
¥2,420〔税込〕

心をひらいて、音をかんじて～耳のきこえない打楽器奏者エヴェリン・グレニー～

シャノン・ストッカー 著
光村教育図書
子どものころ、耳がきこえなくなったエヴェリン。音楽が大好きな彼女は打楽器と出会い…。グラミー賞受賞、ロンドンオリンピックの開会式でも演奏した世界的な打楽器奏者エヴェリン・グレニーの半生を色彩豊かに描く。

朝日新聞 2023/08/26

2023:7./ 40p
978-4-89572-142-4
¥1,760〔税込〕

沖縄戦、米軍占領史を学びなおす～記憶をいかに継承するか～

屋嘉比　収 著
世織書房
沖縄の現実的課題から問われた諸問題に対し、いかに自分なりに応えることができるか。沖縄戦の問題や米軍占領下の歴史について、それまでの研究成果をふまえて著者なりに「学びなおし」、新たな枠組みや視点から考察する。

朝日新聞 2023/08/26

2009:10./ 422p
978-4-902163-45-2
¥4,180〔税込〕

「助けて」と言える社会へ～性暴力と男女不平等社会～

大沢 真知子 著
西日本出版社
コロナ禍でより顕在化した性暴力。その被害者の実態や、男女不平等社会の実態を社会に伝え、性暴力が生じるメカニズムを解明し、性暴力のない社会を目指すための提言をまとめる。相談先一覧付き。

朝日新聞 2023/08/26

2023:5./ 245p
978-4-908443-80-0
¥1,980〔税込〕

心臓の王国

竹宮 ゆゆこ 著
ＰＨＰ研究所
17 歳の鬼島鋼太郎が出会ったのは、白いワンピースのような服に身を包む、「アストラル神威」と名乗る美青年。鋼太郎の通う高校へ転入してきて、青春を謳歌しようとする神威。彼が抱える「恐ろしい秘密」を知った鋼太郎は…。

東京・中日新聞 2023/08/05

2023:7./ 510p
978-4-569-85505-9
¥2,090〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

妖怪学とは何か～井上円了精選～(講談社学術文庫 2772)

井上 円了 著
講談社
全国の妖怪事象を蒐集しつつ、御一新の世になお蔓延る迷信を打破せんとした学者を突き動かしたものとは-。明治の哲学者・宗教家にして、「妖怪学」の創始者・井上円了の著述から妖怪学に関連する数篇を精選したアンソロジー。

東京・中日新聞 2023/08/06

2023:6./ 263p
978-4-06-532226-0
¥1,177〔税込〕

こんとんの居場所

山野辺太郎 著
国書刊行会
謎の生命体「こんとん」の取材記者として調査船に乗り込んだ男女が、たどり着いた島の上で見たものとは…。表題作と「白い霧」の 2 編を収録する。『小説トリッパー』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

東京・中日新聞 2023/08/06

2023:4./ 228p
978-4-336-07472-0
¥2,090〔税込〕

ゴースト・ワーク～グローバルな新下層階級をシリコンバレーが生み出すのをどう食い止めるか～

メアリー・L・グレイ／シッダールタ・スリ 著
晶文社
大企業が提供する自動化されたサービスの裏側に潜む、数えきれない「見えない労働者」の存在と実情とは。文化人類学者とコンピューター社会学者が、新しい局面へと突入した「労働」の変化をリアルに伝える。

東京・中日新聞 2023/08/06

2023:4./ 443p
978-4-7949-7348-1
¥2,420〔税込〕

性暴力を受けたわたしは、今日もその後を生きています。

池田 鮎美 著
梨の木舎
幼馴染の死の真相は性暴力によるものだった。立ちすくむ 16 歳のわたしはまだ、自分自身も性暴力に遭うことになるとは、思いもしなかった-。性暴力は何を壊し、何を奪うものなのか。被害者自身による 9000 日の記録。

東京・中日新聞 2023/08/06

2023:5./ 239p
978-4-8166-2305-9
¥2,200〔税込〕

かっかどるどるどぅ

若竹 千佐子 著
河出書房新社
心もとない毎日を送る 4 人は、引きつけられるように古いアパートの一室を訪れるようになる。そこでは不思議な女性が、訪れる人たちに食事をふるまっていて…。『文藝』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

東京・中日新聞 2023/08/13

2023:5./ 223p
978-4-309-03079-1
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

半農半 X 的これからの生き方キーワード A to Z(かんがえるタネ)

塩見直紀 著
農山漁村文化協会
大地・食・農を大事にしながら幸せになるには? 自分の足元を大事にし、変革性もあわせもつ「半農半 X という生き方」を発信してきた著者が、これからの未来を創造的に生きるためのキーワード 26 を提案する。

東京・中日新聞 2023/08/13

2023:6./ 191p
978-4-540-23121-6
¥1,540〔税込〕

二十世紀のクラシック音楽を取り戻す～三度の戦争は音楽に何をしたか～

ジョン・マウチェリ 著
白水社
オーケストラや歌劇場の主要なレパートリーに、いま「現代」の作品がないのはなぜか。政治的な事情で埋もれてしまった作曲家から、映画音楽やミュージカル、ゲーム音楽作家まで含めて、指揮者が語る二十世紀の音楽史の裏側。

東京・中日新聞 2023/08/13

2023:7./ 319p,23p
978-4-560-09362-7
¥4,180〔税込〕

ラジオと戦争～放送人たちの「報国」～

大森 淳郎／ＮＨＫ放送文化研究所 著
ＮＨＫ出版
長期にわたる取材と膨大な資料渉猟から、アジア・太平洋戦争に直面した放送人たちの矜持や高揚、困惑や懊悩、才智や創意、諦念を克明に追い、戦時下ラジオの責任に真正面から向き合う。『放送研究と調査』掲載を加筆・修正。

東京・中日新聞 2023/08/13、毎日新聞 2023/08/26

2023:6./ 573p
978-4-14-081940-1
¥3,960〔税込〕

姜維

塚本 青史 著
河出書房新社
劉備、関羽、趙雲、諸葛亮…。英雄たちが逝った後の蜀にきた姜維。諸葛亮の遺志を継いで魏と渡り合うが力及ばず…。悲運の智将を通して描く、“その後”の三国志。

東京・中日新聞 2023/08/19

2023:7./ 277p
978-4-309-03121-7
¥2,178〔税込〕

プランツケア～100 年生きる観葉植物の育て方～

川原伸晃 著
サンマーク出版
正しく「ケア」すれば観葉植物は人間より長生きする! 植物を“よみがえらせる”園芸家が、観葉植物の健康寿命を延ばす基本のケアから、「見た目」を美しく整える美観のケアまで、自宅で再現できるように全て伝える。

東京・中日新聞 2023/08/20

2023:7./ 222p
978-4-7631-4064-7
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ファーブル昆虫記誰も知らなかった楽しみ方

海野 和男／伊地知 英信 著
草思社
「ファーブル昆虫記」は子供向けの入門書ではなく、驚くべき指摘が満ちた怜悧な観察記録である。後世の生物学に多大な影響を与えた「ファーブル昆虫記」の真価を、180 点のカラー写真とともに解き明かす。

東京・中日新聞 2023/08/20

2023:6./ 286p
978-4-7942-2649-5
¥3,300〔税込〕

映画監督放浪記

伊藤彰彦／塚田泉 編
関本郁夫 著
小学館スクウェア
「東大卒しか監督になれない」といわれた東映で、「高卒」「大工の倅」とそしられながら、監督になった関本郁夫。関本が職人監督として、東映、日活、角川、テレビ業界でいかに生き延びたかを語った、汗と涙の一代記。

東京・中日新聞 2023/08/20

2023:6./ 507p
978-4-7979-8130-8
¥4,950〔税込〕

女ことばってなんなのかしら?～「性別の美学」の日本語～(河出新書 063)

平野 卿子 著
河出書房新社
日本語の「女ことば」、それは日本人に根付く「性別の美学」の申し子である-。翻訳家として西洋語に長年接してきた著者が、女ことばを産んだ土壌と歴史的背景、およびそこから生じる日本の女と男の関係性を見つめ直す。

東京・中日新聞 2023/08/20、朝日新聞 2023/08/26

2023:5./ 213p
978-4-309-63162-2
¥946〔税込〕

野の果て～自選随筆集～

志村 ふくみ 著
岩波書店
染織家・随筆家として独自の境地を切り拓いてきた志村ふくみ。これまで綴ってきた数多くの随筆の中から特に大切にしている 53 本を自選し、「私」「仕事」「思想」の 3 本柱で再構成。志村ふくみの遙かな歩みを一望する随筆集。

東京・中日新聞 2023/08/27

2023:5./ 336p
978-4-00-001827-2
¥3,300〔税込〕

絶対聖域(刑事花房京子)

香納諒一 著
光文社
刑務所に一般市民を招くオープンデイ。元受刑者の首吊り死体が発見された。路頭に迷っての自殺を有力視する刑務官たち。しかし、現場に居合わせた警視庁の花房らは疑問を抱く。刑務官たちは何を守ろうとしているのか-?

東京・中日新聞 2023/08/27

2023:7./ 233p
978-4-334-91539-1
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

古代中国説話と真相(筑摩選書　0259)

落合 淳思 著
筑摩書房
酒池肉林、臥薪嘗胆、焚書坑儒…。古代中国の説話を信頼できる資料に拠って検証。貴族制が専制君主制に移行した春秋・戦国時代の社会制度、勢力バランス、法治システムを浮き彫りにする。

東京・中日新聞 2023/08/27

2023:7./ 350p
978-4-480-01778-9
¥1,980〔税込〕

まちがえる脳(岩波新書　新赤版 1972)

櫻井 芳雄 著
岩波書店
脳はまちがえるという事実に焦点を当て、多くの事例を紹介。そして、脳内の信号伝達が本来不確かで確率的であることや、間違えるからこそ新たなアイデアを創造し、高次機能を実現することを、研究成果をふまえて解説する。

読売新聞 2023/08/06

2023:4./ 244p
978-4-00-431972-6
¥1,034〔税込〕

コレモ日本語アルカ?～異人のことばが生まれるとき～(岩波現代文庫　学術467)

金水 敏 著
岩波書店
「これながいきの薬ある。のむよろしい」という台詞から中国人が思い浮かぶのはなぜか? 役割語としての“アルヨことば”のルーツと歴史的形成を探究し、日中戦争終結までの中国における言語実態との関連について考察する。

読売新聞 2023/08/06

2023:6./ 284p
978-4-00-600467-5
¥1,452〔税込〕

裂けて海峡(新潮文庫)

志水　辰夫 著
新潮社
読売新聞 2023/08/06

2004:8./ 446p
978-4-10-134518-5
¥649〔税込〕

日本の戦争はいかに始まったか～連続講義日清日露から対米戦まで～(新潮選書)

波多野 澄雄／戸部 良一 著
新潮社
日清・日露戦争から第一次大戦、満州・支那事変を経て、先の戦争に至るまで、当事者らはどんな決断を下したのか。それぞれの開戦過程を各分野の第一人者が実証的に語る。連続講座を書籍化。

読売新聞 2023/08/06

2023:5./ 301p
978-4-10-603897-6
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

世界史の中のヤバい女たち(新潮新書 996)

黒澤 はゆま 著
新潮社
神の通訳マリンチェ、ウクライナの聖人オリハ、冷徹な天使ナイチンゲール…。世界を変えた女たちはどのような人生を歩んだのか? 男性社会の序列をはねのけ、その強さゆえに迫害された“魔女”たちの活躍と素顔に迫る。

読売新聞 2023/08/06

2023:5./ 206p
978-4-10-610996-6
¥858〔税込〕

わが忘れえぬ人びと～縄文の鬼、都の妖怪に会いに行く～

山折哲雄 著
中央公論新社
自己とは何者かを問いつづけ、そして「ホトケ」になった者たち-。宗教史研究の碩学が、敬愛する棟方志功、土門拳、河合隼雄、梅原猛に捧げる人物エッセイ。彼らの魅力を味わい深い筆致で綴る。

読売新聞 2023/08/06

2023:5./ 185p
978-4-12-005658-1
¥1,540〔税込〕

保守とは横丁の蕎麦屋を守ることである～コロナ禍「名店再訪」から「保守再起動」へ～

福田 和也 著
河出書房新社
名店とは客と街、時代と歴史が織りなす文化そのものである-。美食と痛飲の果てに体調を損ねた保守思想家が、コロナ禍に呻吟する贔屓の店を再び訪れ、料理と歓待を存分に味わう。『サンデー毎日』連載に加筆、再構成。

読売新聞 2023/08/06

2023:4./ 137p
978-4-309-03103-3
¥1,870〔税込〕

オレンジ色の世界

カレン・ラッセル 著
河出書房新社
私たちは、オレンジ色の世界に生きている-。悪魔に授乳する新米ママ、<湿地遺体>の少女に恋した少年、水没都市フロリダに棲むゴンドラ乗りの姉妹…。不条理なこの現実を生き残るための、変身と反撃の作品集。

読売新聞 2023/08/06

2023:5./ 333p
978-4-309-20879-4
¥3,080〔税込〕

夏至遺文 トレドの葵(河出文庫 つ 2-4)

塚本 邦雄 著
河出書房新社
猫嫌いの男と空色の猫、少年の日の花鎮めの一夜…。短篇小説を「瞬篇小説」と名付けるほど愛し、多くの作品を遺した“言葉の魔術師”塚本邦雄。その中でも特に名高い瞬篇集「夏至遺文」と「トレドの葵」の 2 冊を収録する。

読売新聞 2023/08/06

2023:6./ 303p
978-4-309-41970-1
¥1,155〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

あなたには、殺せません

石持 浅海 著
東京創元社
今日も、その NPO 法人の相談員は、悩める犯罪者予備軍の犯行計画の穴を次々と指摘していく。不備を突かれた者たちの殺意は、果たして本懐を遂げるのか-。倒叙ミステリ短編集。『紙魚の手帖』掲載を書籍化。

読売新聞 2023/08/06

2023:7./ 243p
978-4-488-02896-1
¥1,870〔税込〕

銀行強盗にあって妻が縮んでしまった事件/奇妙という名の五人兄妹(創元推理文庫 F カ 4-1)

アンドリュー・カウフマン 著
東京創元社
妻が奇妙な強盗事件に遭遇した。犯人はお金に興味を示さず、居合わせた人々から「もっとも思い入れのあるもの」を奪っていったという。以来、なぜだか妻の身長は縮んでいき…。風変わりな作家の風変わりな小説 2 作を収録する。

読売新聞 2023/08/06

2023:6./ 424p
978-4-488-57907-4
¥1,496〔税込〕

日本の水商売～法哲学者、夜の街を歩く～

谷口 功一 著
ＰＨＰ研究所
すすきの、弘前、銀座、甲府、浜松、小倉、別府…。2021 年 10 月から 2022 年 12 月までの 1 年余り、コロナ禍の夜の街をめぐり歩いた法哲学者が、そこで営まれる水商売の姿を描き出す。『Voice』連載を単行本化。

読売新聞 2023/08/06

2023:4./ 221p
978-4-569-85445-8
¥1,760〔税込〕

励起～仁科芳雄と日本の現代物理学～<上>

伊藤 憲二 著
みすず書房
今日の科学研究を支えるインフラとカルチャーはいかに築かれたのか。原子物理学の父・仁科芳雄の動きを軸に、日本における現代物理学の基盤創設の道のりを詳らかにし、それをグローバルな文脈に位置付ける。

読売新聞 2023/08/06

2023:7./ 586p
978-4-622-09618-4
¥5,940〔税込〕

励起～仁科芳雄と日本の現代物理学～<下>

伊藤 憲二 著
みすず書房
今日の科学研究を支えるインフラとカルチャーはいかに築かれたのか。原子物理学の父・仁科芳雄の動きを軸に、日本における現代物理学の基盤創設の道のりを詳らかにし、それをグローバルな文脈に位置付ける。

読売新聞 2023/08/06

2023:7./ 674p
978-4-622-09619-1
¥6,600〔税込〕

岡倉天心とインド～「アジアは一つ」が生まれるまで～

外川 昌彦 著
慶應義塾大学出版会
西洋が「美術」の基準とされた植民地のインドで邂逅した、岡倉天心と近代インドの先覚者たち。アジア独自の「美術史」を打ち立てようとした、国境を越えた知的変革の軌跡を、日印の資料を紐解いて描き出す。

読売新聞 2023/08/06

2023:4./ 306p
978-4-7664-2889-6
¥3,960〔税込〕

出島舶来動物図鑑～象や駱駝から「ドードー」まで～

山口美由紀 著
長崎文献社
なぞの珍鳥「ドードー」は出島にきたのか? 江戸時代には、実にさまざまな動物たちが輸入されていた。絵巻、南蛮屏風、図版で残る細密画から、出島にゆかりのある鳥獣を取り上げ、人とともに生きた動物たちの姿を紹介する。

読売新聞 2023/08/06

2023:3./ 135p
978-4-88851-384-5
¥2,200〔税込〕

じじぃは蜜の味

財津和夫 著
中央公論新社
若い頃が最高? いやいや、75 歳になった今こそ、血湧き肉躍る! チューリップ結成 50 周年を迎えた財津和夫によるエッセイ集。『読売新聞』『西日本新聞』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

読売新聞 2023/08/06、日本経済新聞 2023/08/12

2023:6./ 211p
978-4-12-005662-8
¥1,650〔税込〕

ミュージック・ヒストリオグラフィー～どうしてこうなった?音楽の歴史～

松本 直美 著
ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス
作曲家の肖像画の役割とは? 音楽史は演奏の役に立つのか? 日本人の西洋音楽は亜流なのか? 過去から現在までの「音楽史の書かれ方」を振り返り、新たな視点でアップデートし続ける音楽史の最前線を紹介する。

読売新聞 2023/08/06、毎日新聞 2023/08/12

2023:5./ 302p
978-4-636-10116-4
¥2,200〔税込〕

サキ傑作集(岩波文庫　赤 261-1)

サキ 著
岩波書店
短篇小説に無類の手腕をふるった点で、サキ(1870-1916)はオー・ヘンリーによく似ているが、読後感はひどくちがう。彼は、涙と笑いが生み出すあの人生の温もりとは徹底して無縁である。21 篇を厳選。

読売新聞 2023/08/13

1981:11./ 206p
978-4-00-322611-7
¥660〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

女性不況サバイバル(岩波新書 新赤版 1981)

竹信 三恵子 著
岩波書店
コロナ禍の下、ケア的労働を担う女性たちの雇用危機はいかに無いことにされ、放置されてきたのか。社会に埋め込まれた「不可視化と沈黙」を生み出す「6つの仕掛け」を丹念に浮き彫りにし、当事者たちの懸命の模索をたどる。

読売新聞 2023/08/13

2023:7./ 6p,258p,4p
978-4-00-431981-8
¥1,100〔税込〕

大江健三郎全小説<10>

大江 健三郎 著
講談社
ノーベル文学賞作家・大江健三郎の小説群を、詳しい解説を付して編集した全集決定版。10は、人類の未来への祈りを描く「治療塔」「治療塔惑星」など、近未来SFとファンタジー全3作品を収録。

読売新聞 2023/08/13

2019:6./ 445p
978-4-06-509011-4
¥6,380〔税込〕

私が作家になった理由(わけ)(集英社文庫 あ 13-14)

阿刀田 高 著
集英社
小説家を志していたわけではない。思えば、温かな家庭の原体験と折々の読書が、いつしか作家活動の基盤となっていたのかもしれない…。短編の名手が、辛口ユーモアを交え自己を省みて綴る時代批評&自伝エッセイ。

読売新聞 2023/08/13

2021:1./ 212p
978-4-08-744204-5
¥660〔税込〕

ボッコちゃん 改版(新潮文庫)

星 新一 著
新潮社

読売新聞 2023/08/13

1988:1./ 315p
978-4-10-109801-2
¥737〔税込〕

風の男白洲次郎(新潮文庫)

青柳 恵介 著
新潮社
読売新聞 2023/08/13

2000:7./ 220p
978-4-10-122721-4
¥539〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

雪の練習生(新潮文庫　た-106-1)

多和田 葉子 著
新潮社
サーカスの花形から事務職に転身し、やがて自伝を書き始めた「わたし」。サーカスで伝説の芸を成し遂げた娘の「トスカ」。その息子で動物園の人気者となった「クヌート」。ホッキョクグマ 3 代の物語をユーモラスに描く。

読売新聞 2023/08/13

2013:11./ 328p
978-4-10-125581-1
¥693〔税込〕

すいかの匂い(新潮文庫)

江國 香織 著
新潮社
読売新聞 2023/08/13

2000:6./ 230p
978-4-10-133916-0
¥605〔税込〕

英国諜報員アシェンデン(新潮文庫　モ-5-14)

サマセット・モーム 著
新潮社
時はロシア革命と第一次大戦の最中。英国のスパイであるアシェンデンは上司 R からの密命を帯び、中立国スイスを拠点としてヨーロッパ各国を渡り歩いている。諜報員として活躍したモームによるスパイ小説。

読売新聞 2023/08/13

2017:7./ 445p
978-4-10-213029-2
¥781〔税込〕

マルテの手記　改版(新潮文庫)

リルケ 著
新潮社
読売新聞 2023/08/13

2001:9./ 346p
978-4-10-217503-3
¥649〔税込〕

殺意の風景

宮脇俊三 著
新潮社
読売新聞 2023/08/13

1985:4./ 227 p
978-4-10-333504-7
¥1,100〔税込〕

生き物が老いるということ～死と長寿の進化論～(中公新書ラクレ 765)

稲垣 栄洋 著
中央公論新社
老いは生物が進化の歴史の中で磨いてきた戦略。次世代へと命をつなぎながら、体は老いていく。人類は助け合い、年寄りの知恵を活かすことにより「長生き」を手に入れたのだ-。老化という最強戦略の秘密に迫る。

読売新聞 2023/08/13

2022:6./ 213p
978-4-12-150765-5
¥902〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

料理の四面体(中公文庫)

玉村　豊男 著
中央公論新社
読売新聞 2023/08/13

2010:2./ 259p
978-4-12-205283-3
¥712〔税込〕

論語　改版(中公文庫　か 3-2)

中央公論新社
2500 年の長きにわたり読み継がれてきた、孔子やその弟子たちの言行録「論語」。簡潔・素朴でありながら深い含蓄のある言葉を、新解釈を交えつつ、懇切丁寧に解説した完訳版。倉橋由美子のエッセイも収録。

読売新聞 2023/08/13

2020:3./ 602p
978-4-12-206848-3
¥1,760〔税込〕

広島風土記(中公文庫　い 38-6)

井伏鱒二 著
中央公論新社
慣れ親しんだ鞆ノ津の釣場、尾道で訪ねた志賀直哉の仮寓、「黒い雨」執筆の頃、母親のこと…。広島生まれの井伏鱒二が綴った、郷里とその周辺にまつわる回想や紀行文、小説「因ノ島」「かきつばた」、半生記などを収める。

読売新聞 2023/08/13

2023:6./ 301p
978-4-12-207375-3
¥990〔税込〕

ロシアの眼から見た日本～国防の条件を問いなおす～(NHK 出版新書　699)

亀山 陽司 著
ＮＨＫ出版
「アメリカの核の傘」の下で平和を享受してきた戦後日本は、ロシアの眼からはどう見えているのか? 元駐露外交官が、日本の現在地と課題を日露関係史から解き明かし、政治的英知に基づく中長期的な安全保障のあり方を問う。

読売新聞 2023/08/13

2023:5./ 267p
978-4-14-088699-1
¥1,078〔税込〕

息吹(ハヤカワ文庫 SF 2415)

テッド・チャン 著
早川書房
人間がひとりも出てこない世界の秘密を探究する科学者の、驚異の物語を描く表題作ほか、「予期される未来」「大いなる沈黙」など、科学・思想・文学の最新の知見を取り入れた全 9 篇を収めた作品集。作品ノートも収録。

読売新聞 2023/08/13

2023:8./ 606p
978-4-15-012415-1
¥1,210〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

日の名残り(ハヤカワ epi 文庫)

カズオ・イシグロ 著
早川書房
短い旅に出た老執事が、美しい田園風景のなか古き佳き時代を回想する。長年仕えた卿への敬慕、執事の鑑だった亡父、女中頭への淡い想い、二つの大戦の間に邸内で催された重要な外交会議の数々……。失われゆく伝統的英国を描く英国最高の文学賞、ブッカー賞受賞作。

読売新聞 2023/08/13

2001:5./ 365p
978-4-15-120003-8
¥1,012〔税込〕

パチンコ<上>(文春文庫　リ 7-1)

ミン・ジン・リー 著
文藝春秋
1910 年、釜山沖の影島。キム・ソンジャは日本との貿易を生業とするハンスの子供を身ごもる。彼に妻子がいることを知り、苦悩するソンジャに若き牧師イサクが手を差し伸べ、2 人は大阪の鶴橋に渡り…。

読売新聞 2023/08/13

2023:7./ 378p
978-4-16-792074-6
¥1,056〔税込〕

パチンコ<下>(文春文庫　リ 7-2)

ミン・ジン・リー 著
文藝春秋
戦中の大阪を生き抜き、2 人の息子を育てあげたソンジャ。そこへ日本の裏社会で大きな存在感をもつハンスが現れる。長男ノアは自分の実の父親がハンスだと知り…。4 世代にわたる在日コリアン一家の苦闘を描く。

読売新聞 2023/08/13

2023:7./ 382p
978-4-16-792075-3
¥1,056〔税込〕

天体議会（プラネット・ブルー）

長野まゆみ 著
河出書房新社
読売新聞 2023/08/13

1991:4./ 199p
978-4-309-00681-9
¥1,281〔税込〕

本当の自分とつながる瞑想(河出文庫　や 40-1)

山下 良道 著
河出書房新社
心に次々と湧く怒り、悲しみ、不安…。その苦しみから自由になり「本当の自分」と出会うための瞑想法。過去や未来へ飛び回るネガティブな思考を手放し、「今」を生きるための方法を、イラスト入りでやさしく解説。

読売新聞 2023/08/13

2020:5./ 221p
978-4-309-41747-9
¥748〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

すべての、白いものたちの(河出文庫　ハ 16-1)

ハン・ガン 著
河出書房新社
生後すぐ亡くなった姉をめぐり、ホロコースト後に再建されたワルシャワの街と朝鮮半島の記憶が交差する、儚くも偉大な命の鎮魂と恢復への祈り。うぶぎ、しお、ゆき、ほね…。「白いもの」の目録を書きとめ紡がれた 65 の物語。

読売新聞 2023/08/13

2023:2./ 196p
978-4-309-46773-3
¥935〔税込〕

十二月の十日(河出文庫　ソ 3-2)

ジョージ・ソーンダーズ 著
河出書房新社
愛する長女のために素敵な誕生パーティを開こうと格闘する父親、人間モルモットとして薬を投与される若者たち、暴力の衝動を膨れ上がらせる若き元軍人…。ダメ人間たちが下降のはてに意外な気高さに輝く姿を描き出した短篇集。

読売新聞 2023/08/13

2023:7./ 349p
978-4-309-46785-6
¥1,320〔税込〕

弱いつながり～検索ワードを探す旅～(幻冬舎文庫　あ-59-1)

東　浩紀 著
幻冬舎
私たちは考え方も欲望も今いる環境に規定され、ネットの検索ワードさえグーグルに予測されている。それでも、人生をかけがえのないものにしたいならば、新しい検索ワードを探すしかない-。SNS 時代の挑発的人生論。

読売新聞 2023/08/13

2016:8./ 181p
978-4-344-42501-9
¥594〔税込〕

解剖学教室へようこそ(ちくま文庫)

養老　孟司 著
筑摩書房
読売新聞 2023/08/13

2005:12./ 221p
978-4-480-42161-6
¥704〔税込〕

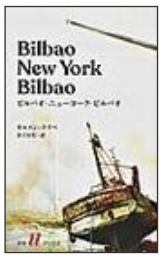
「協力」の生命全史～進化と淘汰がもたらした集団の力学～

ニコラ・ライハニ 著
東洋経済新報社
ささいなことから壮大なことまで、人間が成し遂げてきたあらゆる成果には協力が必要だった-。子どもの夜泣き、核家族の不幸、汚職や賄賂、陰謀論などを例に、「協力」という能力により進化してきた生物の歴史を探る。

読売新聞 2023/08/13

2023:7./ 10p,303p,39p
978-4-492-22411-3
¥2,640〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO



ビルバオ-ニューヨーク-ビルバオ(白水Uブックス　233)

キルメン・ウリベ 著
白水社
キルメン・ウリベは、バスクの中心都市ビルバオから、飛行機でニューヨークへ向けて旅立つが…。失われゆく過去を見送りながら新たな世界へと船出していく、バスク文学の旗手による処女小説。

読売新聞 2023/08/13

2021:1./ 259p
978-4-560-07233-2
¥1,980〔税込〕

ボス、俺を使ってくれないか?(ヤングアニマルコミックス)

富士屋　カツヒト、中溝　康隆、富士屋　カツヒト、中溝　康隆 著
白泉社
これぞリアルプロ野球! 崖っぷちの2軍投手・石原はプロ入り3年で1軍登板ゼロ。いよいよ戦力外か? というタイミングでFカップの彼女から「引退して家業を継いでよ」と迫られる。そんな追い込まれた石原に1軍から声が! チャンスを掴めるか!?

読売新聞 2023/08/13

2019:4./ 192p
978-4-592-14870-8
¥660〔税込〕

彼女の「正しい」名前とは何か～第三世界フェミニズムの思想～ 新装版

岡　真理 著
青土社
西洋フェミニズムの「普遍的正義」の裏に、異文化への差別意識が潜んでいないか。女性で、かつ植民地主義の加害者の側に位置して、「他者」を一方的に語ることの暴力性を凝視。言葉と名前を奪われた人々に応答する道をさぐる。

読売新聞 2023/08/13

2019:8./ 325p
978-4-7917-7210-0
¥2,640〔税込〕

周期律～元素追想～

プリーモ・レーヴィ、竹山　博英 著
工作舎
アルゴン、水素、亜鉛、鉄、カリウム…。化学者として歩んできた日々の挿話を周期表の元素とからめて綴る。アウシュヴィッツ体験を持つユダヤ系イタリア人著者の自伝的短編集。

読売新聞 2023/08/13

2017:10./ 363p
978-4-87502-487-3
¥2,750〔税込〕

贈与をめぐる冒険～新しい社会をつくるには～

岩野卓司 著
ヘウレーカ
贈与の考え方を現代社会に活かすことによって、資本主義を「変質」させ、人と人を結び直し、自然と人間との関係を問い直すことはできるのか。贈与をテーマに、新しい社会をつくるための手がかりを探る。

読売新聞 2023/08/13

2023:5./ 180p
978-4-909753-16-8
¥2,090〔税込〕

人生がそんなにも美しいのなら～荻原浩漫画作品集～(集英社文庫　お 52-8)

荻原　浩　著
集英社
人生のほろ苦くも愛おしい一瞬を切り取った物語から、日常の半歩先に広がるブラックで奇妙な世界まで。小説家が漫画でしか描けないと考えた、センチメンタルで不可思議な絵物語。新作描き下ろしを含む全 9 編を収録。

読売新聞 2023/08/20

2023:6./ 167p
978-4-08-744541-1
¥572〔税込〕

やがて満ちてくる光の(新潮文庫　な-37-16)

梨木　香歩　著
新潮社
たしかな言葉を伝えたい。今いる場所から、見て、感じて、歩いて、考え続けたい。日常を、この一瞬を、大切に生き抜くために-。デビューから近年まで、その時々の梨木香歩の思いが鮮やかに立ちのぼるエッセイ集。

読売新聞 2023/08/20

2023:6./ 406p
978-4-10-125346-6
¥825〔税込〕

水谷豊自伝

水谷　豊／松田　美智子　著
新潮社
おいたち、芸能界デビュー、最初の結婚、“蘭ちゃんさん”、「相棒」へ向かう前哨戦…。こんなに自分の過去を振り返ろうとしたことは一度もなかった-。出演作の秘話から実人生の起伏、交友録まで語り尽くした初の自伝。

読売新聞 2023/08/20

2023:7./ 303p
978-4-10-306453-4
¥1,980〔税込〕

戦後日本政治史～占領期から「ネオ 55 年体制」まで～(中公新書　2752)

境家史郎　著
中央公論新社
占領期、55 年体制、「改革の時代」を経て、再び自民党が野党を圧倒する現在。日本政治は「元いた場所」に戻っただけなのか。憲法をめぐる対立に着目して戦後政治をたどり、日本政治の現在地を見極める。

読売新聞 2023/08/20

2023:5./ 4p,304p
978-4-12-102752-8
¥1,056〔税込〕

70 歳からの人生相談(文春新書　1408)

毒蝮　三太夫　著
文藝春秋
毎日キゲン良く、自信をもって生きよう! 87 歳になった毒蝮三太夫が、高齢者が抱えている悩みと、高齢の身内にまつわる悩みに答える。愛される年寄りになる 12 の極意も紹介。『介護ポストセブン』連載を大幅に加筆修正。

読売新聞 2023/08/20

2023:5./ 239p
978-4-16-661408-0
¥1,045〔税込〕

日本百名虫　フォトジェニックな虫たち(文春新書　1415)

坂爪 真吾 著

文藝春秋

「品格・歴史・個性」を兼ね備えた日本の虫 100 種を、美しい写真とともに紹介。「フォトジェニックな虫たち」では、不完全変態の昆虫と水生・肉食性の甲虫 50 種の名前や生態、その歴史と関係した人物などを解説する。

読売新聞 2023/08/20

2023:7./ 223p
978-4-16-661415-8
¥1,320〔税込〕

日本百名虫　ドラマティックな虫たち(文春新書　1416)

坂爪 真吾 著

文藝春秋

「品格・歴史・個性」を兼ね備えた日本の虫 100 種を、美しい写真とともに紹介。「ドラマティックな虫たち」では、草食・菌食性の甲虫とチョウ・ガなど 50 種の虫の名前や生態、その歴史と関係した人物などを解説する。

読売新聞 2023/08/20

2023:7./ 223p
978-4-16-661416-5
¥1,320〔税込〕

寝煙草の危険

マリアーナ・エンリケス 著

国書刊行会

寝煙草の火で老婆が焼け死ぬ臭いで目覚める夜更け、庭から現れどこまでも付き纏う腐った赤ん坊の幽霊、死んだはずの虚ろな子供が大量に溢れ返る街…。現代アルゼンチン文学の頂点に君臨する作家の恐怖譚を集めた短篇集。

読売新聞 2023/08/20

2023:5./ 282p
978-4-336-07465-2
¥4,180〔税込〕

鳥を読む～文化鳥類学のススメ～

細川 博昭 著

春秋社

人びとの想像力をかきたて、時と場所をこえて文化や信仰、神話、伝承、文学、芸術などに描かれてきた鳥たち。ハト、スズメ、カラス、インコなど、とりわけ人間と密接な関係にある鳥を巡る歴史や文化を明らかにする。

読売新聞 2023/08/20

2023:7./ 4p,318p,15p
978-4-393-42462-9
¥2,750〔税込〕

かがくのふしぎ 100～みのまわりのなぜ?なに?を楽しもう!～

川村 康文／小林 尚美 著

世界文化社

動物、植物、食べもの、人間の体、地球、宇宙…。100 のふしぎを Q&A 形式で、豊富なイラスト・写真を使ってくわしく解説する。自由研究にも役立つ、お家ですぐできる実験・観察も多数掲載。

読売新聞 2023/08/20

2023:7./ 223p
978-4-418-23828-6
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

表装ものがたり～書画を彩る名脇役を知る～

濱村繭衣子 著

淡交社

書画作品は表装をもって完成する-。掛軸の表装には様々な工夫がなされており、作品に大きな役割を果たしている。作品の裏方、名脇役とも言うべき表装を通して、日本美術の面白さ、奥深さを紹介する。

読売新聞 2023/08/20

2023:6./ 159p
978-4-473-04556-0
¥2,640〔税込〕

嫌な気持ちになったら、どうする?～ネガティブとの向き合い方～(ちくまプリマー新書　426)

中村　英代 著

筑摩書房

ちょっとした不安、寄る辺ない寂しさ、誰かへの激しい怒りなど、ネガティブな気持ちになることは誰にでもある。そうした気持ちの特徴や性質を解説し、上手に対処する方法を伝える。弱ったあなたに寄り添ってくれる一冊。

読売新聞 2023/08/20

2023:5./ 187p
978-4-480-68451-6
¥880〔税込〕

議員の両性同数～パリテの現在地～(文庫クセジュ　1058)

レジャーヌ・セナック 著

白水社

女男平等の政治参画を義務付けるフランスの「パリテ法」。パリテはどのように根付き適用されているのか。「パリテ法」を世界各地でとられた女性の政治的過小代表を補う戦略の延長線上に位置づけ、その意義を捉える。

読売新聞 2023/08/20

2023:5./ 152p,10p
978-4-560-51058-2
¥1,320〔税込〕

現代ドイツ政治外交史～占領期からメルケル政権まで～(Minerva Modern History 3)

板橋　拓己／妹尾　哲志 編

ミネルヴァ書房

ドイツはいかにして経済復興や再軍備、ヨーロッパ統合、過去の克服、社会保障や環境保護などの課題に取り組んだのか。歴代首相のリーダーシップ、そして政党政治の展開を軸にして、戦後ドイツ政治の 70 年の歩みを描き出す。

読売新聞 2023/08/20

2023:6./ 13p,365p,9p
978-4-623-09486-8
¥3,850〔税込〕

政党内閣制の成立　1918-27 年

村井　良太 著

有斐閣

政党内閣制、「憲政の常道」とは何か? 1918 年原敬政友会内閣成立から 27 年民政党結成まで、政権の新たな担い手となる政党勢力と、首相を選定していた元老・宮中との相互作用を軸に分析・考察し、その現代的意義を問う。

読売新聞 2023/08/20

2005:1./ 352p
978-4-641-07688-4
¥6,600〔税込〕

ジェンダー平等を実現する法と政治～フランスのパリテ法から学ぶ日本の課題～

辻村 みよ子／齊藤 笑美子 著
花伝社
政治・経済分野の「パリテ」を達成し、同性婚や生殖補助医療、氏の選択にまで法制度を広げたフランス。フランス人権宣言と憲法の歴史的展開、今に至るまでの政策動向を丁寧に追い、日仏を比較検討する。

読売新聞 2023/08/20

2023:4./ 252p
978-4-7634-2058-9
¥1,870〔税込〕

私の昭和史

中村　稔 著
青土社
十五年戦争下の少年期と思春期、迫りくる死を目前に自由な生を求める心の軌跡。生い立ち、社会と文学への早熟な目覚め、友情空間の回想をつうじ、敗戦に至る時代の痛みを透視する鎮魂の記録。『ユリイカ』連載を単行本化。

読売新聞 2023/08/20

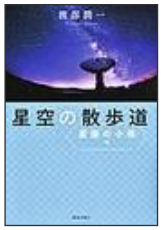
2004:5./ 429p
978-4-7917-6122-7
¥2,640〔税込〕

絶対に停まらない世界の廃墟駅(NATIONAL GEOGRAPHIC)

ナショナル ジオグラフィック 編
デビッド・ロス 著
日経ナショナルジオグラフィック社
壮麗なボザール様式の駅舎が美しい「バラタシビリ駅」、建物の多くが内戦で破壊された「トリポリの機関車庫」…。産業の衰退や人口の減少により、廃墟となった世界129 駅の写真を収録する。「世界の廃墟駅マップ」も掲載。

読売新聞 2023/08/20

2023:5./ 231p
978-4-86313-562-8
¥2,310〔税込〕



星空の散歩道<星座の小径編>

渡部潤一 著
教育評論社
見上げれば宇宙がある-。日本の著名な天文学者・渡部潤一による星座のお話。「うみへび座ひねもすのたりのたりかな」「ウルトラマンのふるさと」などを収録。三菱電機サイエンスサイト『DSPACE』連載を加筆修正。

読売新聞 2023/08/20

2023:6./ 196p
978-4-86624-082-4
¥1,980〔税込〕

温かいテクノロジー～AI の見え方が変わる 人類のこれからが知れる 22 世紀への知的冒険～

林　要 著
ライツ社
ロボットを開発することは、人間を知ることだった-。世界初の家族型ロボット「LOVOT(らぼっと)」の開発者が、「温かいテクノロジー」と人類が共生する世界線について語る。

読売新聞 2023/08/20

2023:5./ 415p
978-4-909044-43-3
¥2,090〔税込〕

戦慄の記録インパール(岩波現代文庫　社会 342)

NHK スペシャル取材班 著
岩波書店
3 万人を超える死者を出した「インパール作戦」は、どのように立案・遂行されたのか。司令官の肉声や兵士たちの証言などを通じて、太平洋戦争で最も無謀と言われる作戦の全貌に迫る。

読売新聞 2023/08/27

2023:7./ 8p,283p
978-4-00-603342-2
¥1,331〔税込〕

ラウリ・クースクを探して

宮内悠介 著
朝日新聞出版
ソ連時代のエストニアに生まれたラウリは、黎明期のコンピュータ・プログラミングで稀有な才能をみせ、魂の親友と呼べるロシア人のイヴァンと出会う。だが二人は時代の波に翻弄され…。『小説トリッパー』掲載を単行本化。

読売新聞 2023/08/27

2023:8./ 236p
978-4-02-251926-9
¥1,760〔税込〕

むかし・あけぼの～小説枕草子～<上>(角川文庫)

田辺　聖子 著
角川書店
美しいばかりでなく、朗らかで才能も豊か。希な女主人の定子中宮に仕えての宮中暮らしは、家にひきこもっていた清少納言の心を潤した。平成の才女の綴った随想『枕草子』を、現代語で物語る大長編小説。

読売新聞 2023/08/27

1986:6./ 477p
978-4-04-131416-6
¥880〔税込〕

むかし・あけぼの～小説枕草子～<下>(角川文庫)

田辺　聖子 著
角川書店
美しいばかりでなく、朗らかで才能も豊か。希な女主人の定子中宮に仕えての宮中暮らしは、家にひきこもっていた清少納言の心を潤した。平成の才女の綴った随想『枕草子』を、現代語で物語る大長編小説。

読売新聞 2023/08/27

1986:6./ 512p
978-4-04-131417-3
¥924〔税込〕

源氏物語<巻 1>(講談社文庫)

講談社
誰もが憧れる源氏物語の世界を、気品あふれる現代語に訳した「瀬戸内源氏」。文学史に残る不朽の名訳で読む華麗なる王朝絵巻。巻一では、光源氏の誕生から、夕顔とのはかない逢瀬、若紫との出会いまでを収録。すべての恋する人に贈る最高のラブストーリー。

読売新聞 2023/08/27

2007:1./ 362p
978-4-06-275633-4
¥759〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

春情蛸の足(講談社文庫)

田辺 聖子 著
講談社
文化勲章作家による食い倒れ熟年恋愛短編集高すぎず安すぎず、食べたいおでんを求め歩く表題作をはじめとした、食と恋にまつわる短編8編。読めば必ず食べたくなる、大人の恋もしたくなる!解説・小川糸。

読売新聞 2023/08/27

2009:6./ 351p
978-4-06-276395-0
¥660〔税込〕

苺をつぶしながら(講談社文庫)

田辺 聖子 著
講談社
35歳の乃里子。剛との結婚解消とともに中谷財閥からも解放されて、仕事も昔の友情も取り戻した。1人暮らし以上の幸せって、ないんじゃない?しかし自分の将来の姿もなぞらえていた女友達に悲しい出来事が。そのとき手を差し伸べてくれたのは……。

読売新聞 2023/08/27

2010:11./ 343p
978-4-06-276802-3
¥770〔税込〕

月の輪草子(講談社文庫 せ 1-78)

瀬戸内 寂聴 著
講談社
月の輪の庵で、90を迎える清少納言は人生を振りかえる。心のうちに甦るのは、幼い頃に死んだ母のことばと、お仕えした中宮定子のお姿だった-。華やかな宮中を生きた女性の人生を描き、「枕草子」の創作秘話に迫る小説。

読売新聞 2023/08/27

2015:10./ 186p
978-4-06-293119-9
¥583〔税込〕

かの子撩乱 新装版(講談社文庫 せ 1-85)

瀬戸内 寂聴 著
講談社
人気漫画家・岡本一平の妻でありながら、2人の美男子に惚れこみ同居させていた作家・岡本かの子。奇矯なこの共同生活から豊潤な芸術を生み出し…。天衣無縫にして稀有なその生涯を描いた評伝小説の傑作。

読売新聞 2023/08/27

2019:7./ 663p
978-4-06-516498-3
¥1,320〔税込〕

まんが原作・原論～理論と実践～(星海社新書 259)

大塚 英志 著
星海社
まんが原作制作のすべてを徹底解剖。理論編では、まんが原作者の思考を「未然の文芸」「否定的媒介」といったキーワードで分析。実践編では、「企画書」の手法とプロセスを、日米のリアルな事例によって解説する。

読売新聞 2023/08/27

2023:5./ 283p
978-4-06-531922-2
¥1,265〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

サイレント 黙認(講談社文庫 か 151-3)

神津 凛子 著
講談社
コーヒーショップで働く華は、忘れ物を届けた縁で、建設会社に勤める勝人と知り合う。勝人の穏やかな性格に惹かれていく華。一方、華の弟の星也は、どこか不穏な勝人に疑念を持ち、素性を調べ始めるが…。サイコ・ミステリー。

読売新聞 2023/08/27

2023:7./ 497p
978-4-06-532428-8
¥1,045〔税込〕

恋ははかない、あるいは、プールの底のステーキ

川上 弘美 著
講談社
小説家のわたし、離婚と手術を経たアン、作詞家のカズ。カリフォルニアのアパートメンツで子ども時代を過ごした友人たちは、半世紀ほど後の東京で再会した-。たゆたうように心に届く大人の愛の物語。『群像』掲載を単行本化。

読売新聞 2023/08/27

2023:8./ 291p
978-4-06-532438-7
¥1,870〔税込〕

場所(新潮文庫)

瀬戸内 寂聴 著
新潮社
読売新聞 2023/08/27

2004:7./ 341p
978-4-10-114436-8
¥693〔税込〕

孤独な夜のココア　改版(新潮文庫)

田辺 聖子 著
新潮社
読売新聞 2023/08/27

2010:3./ 297p
978-4-10-117511-9
¥605〔税込〕

新源氏物語<上>　改版(新潮文庫　た-14-14)

田辺 聖子 著
新潮社
比類なき美貌と知性、そして高貴な身分を持つ源氏は、至福の愛を求めて、許されぬ愛、苦しい恋を重ねる…。平安の宮廷で華麗に繰り広げられる光源氏の愛と葛藤の物語を、<現代>のよみものとして描いた大ロマン長編。

読売新聞 2023/08/27

2015:9./ 542p
978-4-10-117514-0
¥990〔税込〕

新源氏物語<中>　改版(新潮文庫　た-14-15)

田辺 聖子 著
新潮社
須磨、明石で流浪の月日を過した源氏は、罪を許され都へ戻る。3 年の不遇時代は、源氏を放縦な遊蕩児から国家の柱石に変貌させた。権力を拡大する一方で、源氏は愛することの重さ苦しさに耐え、人の世のはかなさに怯える。

読売新聞 2023/08/27

2015:9./ 574p
978-4-10-117515-7
¥935〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

新源氏物語<下>　改版(新潮文庫　た-14-16)

田辺 聖子 著
新潮社
多くの恋をし、恋心の煩悩と呪縛に苦しむ源氏は、最愛の女人・紫の上を失って初めて愛の意味を知る。悲しみに閉ざされた源氏は出家を決意し…。今も変わらない恋愛心理、愛の物語を現代の言葉で描いた「新源氏物語」本編完結。

読売新聞 2023/08/27

2015:9./ 525p
978-4-10-117516-4
¥880〔税込〕

息

小池 水音 著
新潮社
弟が若くして死を選んでから 10 年、姉も、父と母も悔いと悲しみを胸に抱き…。喪失を抱えた家族の再生を、息を繋ぐようにして描き出す表題作、新潮新人賞受賞作「わからないままで」を収録。『新潮』掲載を単行本化。

読売新聞 2023/08/27

2023:5./ 215p
978-4-10-355041-9
¥2,090〔税込〕

砂の果実～80 年代歌謡曲黄金時代疾走の日々～(河出文庫　う 18-1)

売野 雅勇 著
河出書房新社
フリーのコピーライターだったぼくは、一度も歌詞なんて書いたことがなかった-。「少女 A」「涙のリクエスト」「2 億 4 千万の瞳」など、数々のヒット曲を書いた作詞家が綴る名作誕生秘話と、輝ける時代の物語。

読売新聞 2023/08/27

2023:7./ 269p
978-4-309-41976-3
¥968〔税込〕

映画女優のつくり方(幻冬舎新書　ゆ-1-1)

行定 勲 著
幻冬舎
稀代の映画監督・行定勲は、何を基準にヒロインを選び、その美しさと醜さをどう作品に封じ込めてきたのか。日本を代表する女優たちについて、自らのフィルモグラフィを振り返りつつ、知られざるエピソードとともに語り尽くす。

読売新聞 2023/08/27

2023:7./ 173p
978-4-344-98704-3
¥990〔税込〕

医学と儒学～近世東アジアの医の交流～

向 静静 著
人文書院
「論語」などの儒教経典、儒学、疫病、東アジアの国際情勢から様々な影響を受け、変容し続けていた近世日本の医学。後藤艮山ら古方派医学の四大家が実践した「復古」の多様性を解き明かし、近世日本医学史を再定位する。

読売新聞 2023/08/27

2023:5./ 344p
978-4-409-04124-6
¥5,720〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

世界の移民歴史図鑑

フィリップ・パーカー 編
原書房
民族移動、離散、難民などの複雑な歴史背景を理解し、現代世界をより深く知るためのヴィジュアル・ガイド。100 を超えるテーマで、先史時代から現代までの移動・移民の歴史を写真や移動ルートを示す地図等を用いて解説する。

読売新聞 2023/08/27

2023:4./ 287p
978-4-562-07233-0
¥6,380〔税込〕

ゾルゲ伝～スターリンのマスター・エージェント～(新資料が語るゾルゲ事件 2)

オーウェン・マシューズ 著
みすず書房
稀代のスパイ、リヒアルト・ゾルゲの伝記。戦争の岐路、情報の最前線に立ちながら、彼は何に殉じたのか? 英独日露の新資料を駆使して、歴史的事実だけでなくゾルゲと彼をめぐる多くの人々の人間性にも迫る。

読売新聞 2023/08/27

2023:5./ 458p,85p
978-4-622-09548-4
¥6,270〔税込〕

推しの素晴らしさを語りたいのに「やばい!」しかでてこない～自分の言葉でつくるオタク文章術～

三宅　香帆 著
ディスカヴァー・トゥエンティワン
自分の感想を言葉にする「ちょっとしたコツ」を知れば、自分だけの言葉で推しを語ることができる! SNS、ブログなどの発信方法ごとに、推しの素晴らしさを伝える具体的な文章術を紹介する。例文や Q&A なども掲載。

読売新聞 2023/08/27

2023:6./ 252p
978-4-7993-2950-4
¥1,760〔税込〕

世界の広告クリエイティブを読み解く～グローバル時代の新教養!～

山本真郷 著
宣伝会議
ある国ではいいと思われた広告が、なぜ別の国では嫌われるのか。そこにはどんな価値観のメカニズムがあるのか。世界の広告・プロダクト・サービス・社会運動などを異文化理解の視点から解説。『宣伝会議』掲載記事を再構成。

読売新聞 2023/08/27

2023:6./ 267p
978-4-88335-575-4
¥2,420〔税込〕

東京のワクワクする大学博物館めぐり

大坪覚 著
トゥーヴァージンズ
全ての世代が夢中になる迫力ある骨格標本の殿堂、乱歩の面影を探していまもファンが集う聖地…。知的で心躍る出会いがある、一般公開された東京の大学博物館、美術館、水族館、資料館 110 件を紹介する。

読売新聞 2023/08/27

2023:6./ 127p
978-4-910352-70-1
¥2,090〔税込〕

全国恐竜めぐり～Timetrip To Dinosaur Age～

Ｇ．Ｂ．

恐竜を学んで、見つけて、遊んで、楽しもう! 全国の恐竜博物館や展示施設、体験できる発掘現場や恐竜にまつわるホテルやカフェなど“恐竜”に関する情報を掲載する。データ:2023 年 5 月現在。

読売新聞 2023/08/27

2023:7./ 157p
978-4-910428-31-4
¥1,980〔税込〕

皮革とブランド～変化するファッション倫理～(岩波新書　新赤版 1975)

西村 祐子 著

岩波書店

高級バッグから一点モノの財布まで、ファッションを彩る必需品である革製品。皮革文化の来歴と現在から、人々の欲望を満たすためにあらゆるものをブランディングしていく消費文化の本質を描き出す。

日本経済新聞 2023/08/05

2023:5./ 206p
978-4-00-431975-7
¥990〔税込〕

とんび(角川文庫 し 29-7)

重松　清 著

角川書店

昭和 37 年、瀬戸内海の小さな街の運送会社に勤めるヤスに息子アキラ誕生。家族に恵まれ幸せの絶頂にいたが、それも長くは続かず……高度経済成長に活気づく時代と街を舞台に描く、父と子の感涙の物語。

日本経済新聞 2023/08/05

2011:10./ 420p
978-4-04-364607-4
¥704〔税込〕

水滸伝<1>　曙光の章(集英社文庫)

北方　謙三 著

集英社

日本経済新聞 2023/08/05

2006:10./ 388p
978-4-08-746086-5
¥858〔税込〕

ローマ人の物語<1>　ローマは一日にして成らず(上)(新潮文庫)

塩野 七生 著

新潮社

日本経済新聞 2023/08/05

2002:5./ 197p
978-4-10-118151-6
¥572〔税込〕

こころの処方箋(新潮文庫)

河合 隼雄 著

新潮社

日本経済新聞 2023/08/05

1998:6./ 241p
978-4-10-125224-7
¥649〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

木のいのち木のこころ<天>(新潮 OH!文庫)

西岡　常一、塩野　米松 著
新潮社
日本経済新聞 2023/08/05

2001:5./ 174p
978-4-10-290092-5
¥597〔税込〕

朝鮮半島の歴史～政争と外患の六百年～(新潮選書)

新城 道彦 著
新潮社
気鋭の研究者が、朝鮮半島の南北分断に至る長い道のりを、14 世紀の朝鮮王朝の建国にさかのぼって叙述。国内の政治闘争と周辺国のパワーバランスに着目し、朝鮮特有の政治力学の因果を浮き彫りにする。

日本経済新聞 2023/08/05

2023:6./ 293p
978-4-10-603900-3
¥1,925〔税込〕

おしゃべりから始める私たちのジェンダー入門～暮らしとメディアのモヤモヤ「言語化」通信～

清田隆之 著
朝日出版社
非モテ男性たちのぼやき、阿佐ケ谷姉妹のお笑い、パワハラ、ルッキズム…。40代、双子の父であり、フェミニズムに向き合う文筆家が、自己矛盾も罪の記憶も正直に、生活を綴る。共同通信による連載を大幅に加筆修正し書籍化。

日本経済新聞 2023/08/05

2023:6./ 260p
978-4-255-01339-8
¥1,925〔税込〕

自由からの逃走　新版(現代社会科学叢書)

エーリッヒ・フロム、日高六郎 著
東京創元社
現代の「自由」の問題は、機械主義社会や全体主義の圧力によって、個人の自由がおびやかされるというばかりでなく、人々がそこから逃れたくなる呪縛となりうる点にあるという斬新な観点で自由を解明した、必読の名著。

日本経済新聞 2023/08/05

1984:4./ 337p
978-4-488-00651-8
¥1,870〔税込〕

選択の自由～自立社会への挑戦～

M.フリードマン、R.フリードマン 著
日本経済新聞出版社
社会保障、教育、雇用などのさまざまな分野において、アメリカ政府の介入がいかなる結果をもたらしたかを考察。政府による過剰支配社会の危険を論じ、自由な個人相互間における自発的な協力に依存した自立社会への道を説く。

日本経済新聞 2023/08/05

2012:6./ 34p,516p
978-4-532-35528-9
¥2,640〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

プーチン<上> 生誕から大統領就任まで

フィリップ・ショート 著
白水社
プーチンとは何者なのか。元 BBC 記者の伝記作家が、8 年がかりの調査取材と精細な筆致で、70 年に及ぶ経歴、言動、個性、思考を徹底検証する。上は、ウラジーミル・プーチンの生誕から大統領就任までを収録。口絵写真付き。

日本経済新聞 2023/08/05

2023:5./ 468p,124p
978-4-560-09497-6
¥4,950〔税込〕

プーチン<下> テロから戦争の混迷まで

フィリップ・ショート 著
白水社
プーチンとは何者なのか。元 BBC 記者の伝記作家が、8 年がかりの調査取材と精細な筆致で、70 年に及ぶ経歴、言動、個性、思考を徹底検証する。下は、アメリカ同時多発テロからウクライナ侵攻までを収録。口絵写真付き。

日本経済新聞 2023/08/05

2023:6./ 436p,112p
978-4-560-09498-3
¥4,950〔税込〕

血と暴力の国(扶桑社ミステリー)

コーマック・マッカーシー 著
扶桑社
日本経済新聞 2023/08/05

2007:8./ 424p
978-4-594-05461-8
¥942〔税込〕

ニジンスキー～踊る神と呼ばれた男～

鈴木 晶 著
みすず書房
ニジンスキーから男性ダンサーの時代が始まった-。百年前、ダンスに革命を起こしながら闇の中へと沈んだニジンスキー。その数奇な生涯と比類なき芸術を、貴重な資料と写真でたどる。バレエ研究の第一人者によるライフワーク。

日本経済新聞 2023/08/05

2023:7./ 432p
978-4-622-09621-4
¥5,720〔税込〕

パスファインダー・カイト(ハルキ文庫 さ 30-1)

斉藤 詠一 著
角川春樹事務所
日本で五指に入る自然保護 NGO「月読記念財団」に中途採用された速水櫂人。自然や環境の大切さを伝える職務に就く同僚とともに市民への啓蒙活動に励んでいく。だが彼には周囲に明かせない過去と、秘められた任務があった…。

日本経済新聞 2023/08/05

2023:7./ 253p
978-4-7584-4574-0
¥792〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

わたしは、不法移民～ヒスパニックのアメリカ～

カーラ・コルネホ・ヴィラヴィセンシオ 著
慶應義塾大学出版会
不当な労働によって搾取され、虐げられ、精神を病む不法移民たち。自らも不法移民である著者が、彼らを取り巻く状況やそのメンタリティを克明に描く。人種主義的・反移民的な思想を抱く人びとへの静かで強力な反論。

日本経済新聞 2023/08/05

2023:6./ 229p,7p
978-4-7664-2896-4
¥2,640〔税込〕

枯木ワンダーランド～枯死木がつなぐ虫・菌・動物と森林生態系～

深澤遊 著
築地書館
枯木の表面や幹の中では、生き物たちの活気あふれる営みが繰り広げられている。枯木を利用する生き物たちの暮らしから、倒木更新と菌類の関係、枯木の存在が炭素貯留に役立つ仕組みまで、その知られざる自然誌を解き明かす。

日本経済新聞 2023/08/05

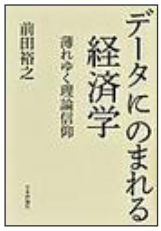
2023:6./ 343p 図版 16p
978-4-8067-1653-2
¥2,640〔税込〕

ザ・キルスコア～資本主義とサステナビリティーのジレンマ～

ナショナル ジオグラフィック 編
ヤコブ・トーメ 著
日経ナショナルジオグラフィック社
持続可能な社会の実現は、可能なのか。資本主義が生む膨大な犠牲と社会の致命的結末をあらゆるリソースを用いて「キルスコア」として数値化。「消費とサステナビリティーの両立」という究極の難題に真正面から向き合う。

日本経済新聞 2023/08/05

2023:6./ 334p
978-4-86313-585-7
¥2,200〔税込〕



データにのまれる経済学～薄れゆく理論信仰～

前田 裕之 著
日本評論社
データ分析の波が押し寄せている経済学界は、その波にのみこまれてしまうのか。「理論と実証」のはざまで苦闘してきた経済学者たちの足跡を追いつつ、経済学の草創期から現在に至るまでの実証分析の全体像を描く。

日本経済新聞 2023/08/05、朝日新聞 2023/08/19

2023:6./ 8p,328p,14p
978-4-535-54038-5
¥2,420〔税込〕

パシヨン

川越 宗一 著
ＰＨＰ研究所
司祭になるためローマへ、そして禁教下の日本へ。小西行長の孫・マンショの人生を軸に、“受難(パシヨン)の時代”を生きる者たちの魂の叫びを描いた歴史小説。『河北新報』等掲載に加筆修正し単行本化。

日本経済新聞 2023/08/05、朝日新聞 2023/08/26

2023:6./ 445p
978-4-569-85486-1
¥2,420〔税込〕

ふりさけ見れば<<上>巻>

安部龍太郎 著

日経ＢＰ社

科挙に合格、外国人で異例の出世を遂げる阿倍仲麻呂は帰国の時を迎えていた。ともに 16 年前に海を渡った吉備真備は留学の成果を持ち帰り、仲麻呂たちと日本「国」の礎を築こうとするが…。『日本経済新聞』連載を単行本化。

日本経済新聞 2023/08/05、毎日新聞 2023/08/19

2023:7./ 456p
978-4-296-11748-2
¥2,200〔税込〕

ふりさけ見れば<<下>巻>

安部龍太郎 著

日経ＢＰ社

玄宗皇帝と楊貴妃に近侍する高級官僚・仲麻呂は、日本の朝廷の密命を帯びていた。唐を揺るがす動乱が、彼の運命を翻弄し…。ユーラシアから日本を見る壮大なスケールで日中関係の淵源に迫る。『日本経済新聞』連載を単行本化。

日本経済新聞 2023/08/05、毎日新聞 2023/08/19

2023:7./ 455p
978-4-296-11749-9
¥2,200〔税込〕

「イクメン」を疑え!(集英社新書　1161)

関口 洋平 著

集英社

日米の保育事情を比較しつつ、映画やビジネス書にひそむ「イクメン」の文化的イメージを分析。新進気鋭のアメリカ研究者が、「イクメン」ブームから 10 年以上経った今、その意味を問いなおす。

日本経済新聞 2023/08/12

2023:4./ 220p
978-4-08-721261-7
¥990〔税込〕

縛られる日本人～人口減少をもたらす「規範」を打ち破れるか～(中公新書 2715)

メアリー・C・ブリントン 著

中央公論新社

人口が急減する日本。なぜ出生率も幸福度も低いのか。世界的な日本研究者が、日本、アメリカ、スウェーデンの子育て世代へのインタビュー調査と国際比較データから日本の若い男女の姿を浮かび上がらせ、政策提言をおこなう。

日本経済新聞 2023/08/12

2022:9./ 260p
978-4-12-102715-3
¥990〔税込〕

一流投資家が人生で一番大切にしていること

ウィリアム・グリーン 著

早川書房

自分の無知に用心すること、忍耐強くあること、信頼と善意を引き寄せる行動をとること、流行を追わないこと…。30 年以上にわたる世界的な一流投資家たちへのインタビューを通じて、投資の極意と幸福の哲学のすべてを明かす。

日本経済新聞 2023/08/12

2023:6./ 418p
978-4-15-210251-5
¥3,080〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

米中冷戦がもたらす経営の新常識 15 選

恩田 達紀 著
日経ＢＰ社
米中新冷戦への突入は不可避。この冷戦がもたらす「デリスキング」は国内企業の戦略策定上、新しい経営課題になった。日本企業に向けてこれからの生き残り戦略のあり方を説く。<図解>米中冷戦も掲載。

日本経済新聞 2023/08/12

2023:6./ 390p
978-4-296-20256-0
¥2,750〔税込〕

中世ヨーロッパ全史<上> 王と権力

ダン・ジョーンズ 著
河出書房新社
古代ローマ帝国崩壊から宗教改革まで、時間も場所も縦横無尽に駆け抜ける、新たな中世ヨーロッパ史。上は、西ローマ帝国の後退・瓦解から、修道士と騎士たちの思考の融合が十字軍を生み出すまでを描く。

日本経済新聞 2023/08/12

2023:5./ 395p 図版 12p
978-4-309-22885-3
¥4,290〔税込〕

中世ヨーロッパ全史<下> 創造と革命

ダン・ジョーンズ 著
河出書房新社
古代ローマ帝国崩壊から宗教改革まで、時間も場所も縦横無尽に駆け抜ける、新たな中世ヨーロッパ史。下は、新たなグローバル超大国モンゴルの出現から、プロテスタント主義による宗教改革が中世に幕を引くまでを描き出す。

日本経済新聞 2023/08/12

2023:5./ 375p 図版 12p
978-4-309-22886-0
¥4,290〔税込〕

<戦い>と<トラウマ>のアニメ表象史～「アトム」から「まどか☆マギカ」以後へ～

森 茂起、川口 茂雄 編
日本評論社
アニメは戦争をどう描いてきたか。戦争は日本アニメをどう生み出してきたのか。「鉄腕アトム」「魔法少女まどか☆マギカ」「ゴールデンカムイ」など、日本アニメの作品群を、日本の戦争体験を扱う試みの系譜として読みなおす。

日本経済新聞 2023/08/12

2023:7./ 270p
978-4-535-56417-6
¥2,200〔税込〕

歌詞のサウンドテクスチャー～うたをめぐる音声詞学論考～

木石　岳 著
白水社
宇多田ヒカル、椎名林檎、King Gnu、米津玄師…。あのうたはなぜヤバいのか? ポップスの歌詞を楽しむ音声詞学の入門書。最新の学術研究をふまえ、うたの分析に「音響論的転回」をもたらす。譜面、図版など多数掲載。

日本経済新聞 2023/08/12

2023:7./ 291p,50p
978-4-560-09345-0
¥2,970〔税込〕

残月記

小田雅久仁 著
双葉社
近未来の日本、人々を震撼させている感染症「月昂」に冒された若者。カリスマ暴君の歪んだ願望に運命を翻弄されながら、愛する女のために抗い続け…。表題作はじめ全 3 編を収録。『小説推理』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2023/08/12

2021:11./ 381p
978-4-575-24464-9
¥1,815〔税込〕

男性育休の困難～取得を阻む「職場の雰囲気」～

齋藤 早苗 著
青弓社
育休を取得する男性は、ほかの社員からからかわれたり、仕事を盾に「休むこと」を非難される。なぜ男性育休は職場からの逸脱と見なされるのか。インタビュー調査から男性の育休取得を困難にする「職場の雰囲気」を可視化する。

日本経済新聞 2023/08/12

2020:8./ 215p
978-4-7872-3474-2
¥2,200〔税込〕

シェルフ・ライフ～カイロで革新的な書店を愛し育て、苦悩した記録～

ナディア・ワーセフ 著
Ｇ．Ｂ．
2002 年、エジプト初のモダンな書店ディーワーンを創業。男性優位のエジプトで、女性が書店を開くということは、想像を絶するような困難が待ち受けていた。エジプトを代表する独立系書店チェーンへと成長するまでの記録。

日本経済新聞 2023/08/12

2023:7./ 399p
978-4-910428-32-1
¥2,970〔税込〕

男性育休の社会学

中里 英樹 著
さいはて社
男性育休取得率向上の先に何を目指すべきなのか? 日本、ドイツ、北欧での調査をふまえ、育児をめぐる文化や言説、制度の内容、改正のプロセス、実践について分析し、構造転換に向けて方策を提示する。

日本経済新聞 2023/08/12

2023:2./ 337p
978-4-9912486-1-0
¥3,300〔税込〕

トランスジェンダー入門(集英社新書　1174)

周司 あきら／高井 ゆと里 著
集英社
トランスの人たちはどんな差別に苦しんでいるのか。「LGBT」と一括りにされることが多い「トランスジェンダー」について、さまざまなデータを用いて現状を明らかにすると共に、医療や法律をはじめその全体像を解説する。

日本経済新聞 2023/08/12、朝日新聞 2023/08/19、朝日新聞 2023/08/26

2023:7./ 229p
978-4-08-721274-7
¥1,056〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

女人短歌～小さなるものの芽生えを、女性から奪うことなかれ～

濱田美枝子 著
書肆侃侃房
女性のために女性自身の手によって編まれた歌誌「女人短歌」は、敗戦直後に創刊された。男性中心の歌壇のなかで結社を超えて女性たちが結束し、相互研鑽に努めた。「女人短歌」に集った歌人たちの熱き魂のリレーを追う。

日本経済新聞 2023/08/12、朝日新聞 2023/08/20

2023:6./ 319p
978-4-86385-581-6
¥2,420〔税込〕

ウクライナ動乱～ソ連解体から露ウ戦争まで～(ちくま新書　1739)

松里 公孝 著
筑摩書房
現地調査に基づき、ユーラシア世界の現代史を深層分析。ユーロマイダン革命、ロシアのクリミア併合、ドンバスの分離政権と戦争、ロシアの対ウクライナ開戦準備など、その知られざる実態を内側から徹底解明する。

日本経済新聞 2023/08/12、読売新聞 2023/08/27

2023:7./ 502p,8p
978-4-480-07570-3
¥1,430〔税込〕

近代日本メディア議員列伝<6> 池崎忠孝の明暗

佐藤 卓己 著
創元社
明治から戦後にかけて<政治のメディア化>を体現したメディア議員を深掘りする。6は、政治家を目指して漱石門下となった文筆家・赤木桁平こと池崎忠孝を取り上げ、近代日本を生きた教養主義者の可能性と限界性を描出する。

日本経済新聞 2023/08/12、毎日新聞 2023/08/19、産経新聞 2023/08/27

2023:6./ 547p
978-4-422-30106-8
¥2,970〔税込〕

歌うカタツムリ～進化とらせんの物語～(岩波現代文庫　社会 341)

千葉 聡 著
岩波書店
地味でパッとしないカタツムリも、生物進化の研究においては欠くべからざる華だった。木村資生やグールドらによる論争の歴史を辿りつつ、じりじりと前進していく研究の営みと、カタツムリの進化を重ねて描いた壮大な歴史絵巻。

日本経済新聞 2023/08/19

2023:7./ 4p,239p,26p
978-4-00-603341-5
¥1,243〔税込〕

恋の幽霊

町屋良平 著
朝日新聞出版
京、青澄、土、しき。高校で 4 人は出会い、恋愛のぜんぶを出し尽くした。あの事件が起こるまでは。あれから 15 年。大晦日に送られた京からのメッセージが、どん底のいまを動かしはじめ…。『小説トリッパー』連載を単行本化。

日本経済新聞 2023/08/19

2023:7./ 317p
978-4-02-251910-8
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

犬の力<上>(角川文庫)

ドン・ウィンズロウ 著
角川書店
血みどろの麻薬戦争に巻き込まれた、ＤＥＡの捜査官、ドラッグの密売人、コールガール、殺し屋、そして司祭。戦火は南米のジャングルからカリフォルニアとメキシコの国境へと達し、地獄絵図を描く。

日本経済新聞 2023/08/19

2009:8./ 574p
978-4-04-282304-9
¥1,047〔税込〕

犬の力<下>(角川文庫)

ドン・ウィンズロウ 著
角川書店
日本経済新聞 2023/08/19

2009:8./ 473p
978-4-04-282305-6
¥1,047〔税込〕

前の家族

青山 七恵 著
小学館
中古マンションの購入を決断した、37 歳・独身・小説家の猪瀬藍。理想的な物件で始まった新生活に心躍らすが、その先に思いもかけない展開が待ち受けていた…。異色のマイホームミステリー。『WEB きらら』連載に加筆改稿。

日本経済新聞 2023/08/19

2023:7./ 299p
978-4-09-386693-4
¥1,980〔税込〕

国家にモラルはあるか?～戦後アメリカ大統領の外交政策を採点する～

ジョセフ・Ｓ・ナイ 著
早川書房
戦後のアメリカ大統領で最も倫理観のある外交政策をおこなったのは誰か。ソフトパワーの提唱者が歴代大統領の外交政策を一挙総括。「開かれた国際秩序」の実現のために、国家とモラルのあるべき関係を描く。

日本経済新聞 2023/08/19

2021:2./ 383p
978-4-15-210004-7
¥3,190〔税込〕

東大生のジレンマ～エリートと最高学府の変容～(光文社新書　1260)

中村正史 著
光文社
休学者、起業する卒業生の急増など、定型化された進路に疑問を抱く東大生たちは、進んでそのレールから外れていく。東大の激変と、その背後で進行する社会の変容を、現場の声を元に分析する。『朝日新聞 EduA』掲載に加筆。

日本経済新聞 2023/08/19

2023:6./ 206p
978-4-334-04667-5
¥924〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

入管を問う～現代日本における移民の収容と抵抗～

岸見 太一／髙谷 幸／稲葉 奈々子 著
人文書院
多角的な観点から入管政策を問い直し、その特質と構造を明らかにする。入管行政によって排除された無登録移民が「社会的に生きられる」社会を実現するための嚆矢となる一冊。

日本経済新聞 2023/08/19

2023:7./ 268p
978-4-409-24158-5
¥2,420〔税込〕

われらの子ども～米国における機会格差の拡大～

ロバート・D.パットナム、柴内　康文 著
創元社
子どもたちの出自における貧富の差が、いかにして機会の格差につながっていくのか。社会関係資本論の第一人者が、<夢なき社会>を生んだ米国の貧困を、子どもの物語と社会調査で活写する。

日本経済新聞 2023/08/19

2017:3./ 381p
978-4-422-36001-0
¥4,070〔税込〕

こころ(ちくま文庫)

夏目漱石 著
筑摩書房
友を死に追いやった「罪の意識」によって、ついには人間不信に至る近代知識人の心の暗部を描いた傑作。若い読者の理解を助けるため読みやすい活字で詳細な語注を付した。

日本経済新聞 2023/08/19

1985:12./ 325p
978-4-480-02015-4
¥418〔税込〕

日本のビールは世界一うまい!～酒場で語れる麦酒の話～(ちくま新書　1737)

永井 隆 著
筑摩書房
西のアサヒ、東のサッポロと言われた理由とは。ラガーとエールの違いとは。世界一うまいと絶賛される日本のビール。商品開発、市場開拓、価格など、熾烈な競争の背後にある発展史と舞台裏を一望する。

日本経済新聞 2023/08/19

2023:7./ 254p
978-4-480-07562-8
¥990〔税込〕

貞観政要(ちくま学芸文庫　コ 43-1)

呉 兢 著
筑摩書房
唐代、治世の問題を真正面から取り扱い、帝王学の指南書となった「貞観政要」。そこには、汲めども尽きぬ教訓が今も満ち溢れている。明代の通行本(戈直本)を底本とし、全篇より 70 篇を精選し訳出する。

日本経済新聞 2023/08/19

2015:9./ 256p
978-4-480-09695-1
¥1,100〔税込〕

ひとっこひとり

東　直子 著

双葉社

夫に抱えている秘密を言い出せない主婦、高校生の娘に弁当を作り続けるシングルファーザー、元担任教師に強引に家に誘われた教え子…。「言葉」がもたらす小さな奇跡を見せてくれる短編集。『小説推理』連載に加筆・訂正。

日本経済新聞 2023/08/19

2023:7./ 221p
978-4-575-24652-0
¥1,650〔税込〕

GDP～<小さくて大きな数字>の歴史～

ダイアン・コイル、高橋　璃子 著

みすず書房

GDP(国内総生産)計算の先駆的試みから、1940 年代における誕生、戦後の黄金期を経て、現在直面する限界と課題までを歴史的にたどり、GDP は何を測るのか、21 世紀にふさわしい経済指標とは何かを明らかにする。

日本経済新聞 2023/08/19

2015:8./ 149p,13p
978-4-622-07911-8
¥2,860〔税込〕

帝国の追放者たち～三つの流刑地をゆく～

ウィリアム アトキンズ 著

柏書房

フランスのアナキスト、ズールー人の王、ウクライナの革命家。19 世紀にフランス、イギリス、ロシアによって離島へ流刑に処せられた 3 人の人物像を描き出し、フィールドワークによって彼らの足跡をたどる。

日本経済新聞 2023/08/19

2023:6./ 360p,15p
978-4-7601-5526-2
¥2,970〔税込〕

ある日、森の中でクマさんのウンコに出会ったら～ツキノワグマ研究者のウンコ採集フン闘記～

小池伸介 著

辰巳出版

体を張った研究の果てに見えてきた、森林におけるクマの役割と自然の神秘とは? 25 年間にわたってウンコを拾い続け、ツキノワグマの生態を明らかにしてきたクマ博士・小池伸介が、数奇な研究人生とクマの本当の姿を語る。

日本経済新聞 2023/08/19

2023:7./ 286p
978-4-7778-2982-8
¥1,650〔税込〕

行政革命

デーヴィド・オズボーン、テッド・ゲーブラー 著

日本能率協会マネジメントセンター

日本経済新聞 2023/08/19

1995:1./ 326p
978-4-8207-1042-4
¥4,057〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

大規模言語モデルは新たな知能か～ChatGPT が変えた世界～(岩波科学ライブラリー 319)

岡野原 大輔 著
岩波書店
チャット GPT を支える大規模言語モデルとは、どのような仕組みなのか。何が可能となり、どんな影響が考えられるのか。人の言語獲得の謎も解き明かされるのか。新たな知能の正負両面をみつめ、今後の付き合い方を考える。

日本経済新聞 2023/08/26

2023:6./ 8p,132p
978-4-00-029719-6
¥1,540〔税込〕

講談放浪記

神田 伯山 著
講談社
歴史上の出来事や、そこに登場する人物たちをベースに編まれた物語を扱う芸能「講談」。講談師・神田伯山が名作講談の舞台を歩く。師匠・神田松鯉との対談も収録。『群像』連載を改稿加筆し、書き下ろしを加えて単行本化。

日本経済新聞 2023/08/26

2023:7./ 260p
978-4-06-530500-3
¥1,760〔税込〕

江戸の好奇心花ひらく「科学」(集英社新書　1171)

池内 了 著
集英社
和算、花火、金魚、園芸、からくり…。町民から大名まで、江戸の人びとが熱中した知の蓄積を丁寧に辿り直し、近代科学とは一線を画す「もうひとつの科学」の姿を浮かび上がらせる。

日本経済新聞 2023/08/26

2023:7./ 333p
978-4-08-721271-6
¥1,210〔税込〕

ビジュアル・シンカーの脳～「絵」で考える人々の世界～

テンプル・グランディン 著
ＮＨＫ出版
脳内で膨大な絵を次々に連想していく、特異な能力をもつ視覚思考者。視覚思考者の著者が、多くの実例や最新研究をもとに、ものづくり、ビジネス、教育に革新をもたらす新たな才能の世界を示す。思考タイプ判定テスト付き。

日本経済新聞 2023/08/26

2023:7./ 325p
978-4-14-081942-5
¥2,640〔税込〕

私たちの世代は

瀬尾 まいこ 著
文藝春秋
小学 3 年生になる頃に今までにない感染症が流行し、不自由を余儀なくされた 2 人の少女、冴と心晴。冴は中学でイジメに遭い、心晴は引きこもりになってしまう。それでも周囲の人々の助けもあり、やがて就職の季節を迎えて…。

日本経済新聞 2023/08/26

2023:7./ 279p
978-4-16-391727-6
¥1,870〔税込〕

ジュリアン・バトラーの真実の生涯

川本 直 著
河出書房新社
アメリカを代表する作家、ジュリアン・バトラーの生涯は長きにわたって夥しい伝説的なゴシップの靄に包まれていた。しかし、2017 年、覆面作家よる回想録が刊行され…。スキャンダラスに生きた恋人たちの生涯を描く。

日本経済新聞 2023/08/26

2021:9./ 396p
978-4-309-02983-2
¥2,475〔税込〕

85 歳、「好きなこと」を続けるごきげん暮らし

小畑　滋子 著
大和書房
おしゃれで気持ちを上げる、本当に気に入ったものにお金をつかう、毎日きげんよく暮らす…。ミナペルホネン「call」のショップスタッフとして働く 85 歳の著書が、好きなことを続けるシンプルな暮らし方を紹介する。

日本経済新聞 2023/08/26

2022:11./ 190p
978-4-479-78573-6
¥1,540〔税込〕

スターリンの図書室～独裁者または読書家の横顔～

ジェフリー・ロバーツ 著
白水社
史上最も血にまみれた独裁者ヨシフ・スターリンの知的生活と生涯を描く。「本の虫」でもあった彼の膨大な蔵書と本への書き込みを精査し、思想と信条、革命と戦争、国政と外交に及ぼした影響、人格と感情の内奥に踏み込む。

日本経済新聞 2023/08/26

2023:8./ 393p,66p
978-4-560-09359-7
¥4,950〔税込〕

WHITESHIFT 白人がマイノリティになる日

エリック・カウフマン 著
亜紀書房
白人がマイノリティになる世界-ホワイトシフト。英国では 2100 年代までにこの変容が完了する。その時、世界はどう変わるのか。人口学、社会学、心理学等の知見を動員し、データをもとに米・英・欧州・カナダの状況を分析。

日本経済新聞 2023/08/26

2023:6./ 782p
978-4-7505-1796-4
¥6,160〔税込〕

プライバシーこそ力～なぜ、どのように、あなたは自分のデータを巨大企業から取り戻すべきか～

カリッサ・ヴェリツ 著
花伝社
あなたのすべての情報が、いま巨大 IT 企業と政府の手に渡り、あなたのあらゆる行動を支配しようとしている。この「監視資本主義」に対し、どう立ち向かうことができるか。監視資本主義の脅威と解決策をわかりやすく解説する。

日本経済新聞 2023/08/26

2023:7./ 258p,25p
978-4-7634-2074-9
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

100 歳で夢を叶える

木村美幸 著
晶文社
90 歳を超えてなお、日々を活き活きと過ごし、周囲に活力と元気を振りまく素敵な「生涯現役」の鉄人たち 14 人が、いまの関心ごとや取り組んでいる仕事、毎日の食事や暮らし方、この先の夢を語るインタビュー集。

日本経済新聞 2023/08/26

2023:7./ 252p
978-4-7949-7372-6
¥1,760〔税込〕

交通誘導員ヨレヨレ日記～当年 73 歳、本日も炎天下、朝っぱらから現場に立ちます～

柏耕一 著
フォレスト出版
「誰でもなれる」「最底辺の職業」と警備員自身が自嘲する交通誘導員の実態とは? 73 歳を迎える現在も交通誘導員として日々現場に立つ著者が自身の経験を基に、その悲哀と笑いを日記形式で描きだす。

日本経済新聞 2023/08/26

2019:7./ 207p
978-4-86680-904-5
¥1,430〔税込〕

85 歳のひとり暮らし～ありあわせがたのしい工夫生活～

田村 セツコ 著
興陽館
食べものも着る服もありあわせ。人の名前を忘れてもオッケー。年をとるのを怖がらない。毎日、元気にたのしく暮らしています! 85 歳の現役イラストレーター・田村セツコさんの、かわいくて幸せな暮らしかたを紹介します。

日本経済新聞 2023/08/26

2023:2./ 203p
978-4-87723-305-1
¥1,430〔税込〕

自称詞<僕>の歴史(河出新書 064)

友田 健太郎 著
河出書房新社
<僕>という日本語は、なぜ男性だけに普及したのか? 明治以降、男たちの間で急速に広まった自称詞<僕>について、幕末の志士・吉田松陰の書簡をはじめ、膨大な文献をたどりながら自称詞に込められた意味と変遷を読み解く。

日本経済新聞 2023/08/26、産経新聞 2023/08/27

2023:6./ 342p
978-4-309-63167-7
¥1,078〔税込〕

人口亡国～移民で生まれ変わるニッポン～(朝日新書　910)

毛受敏浩 著
朝日新聞出版
人口激減を迎え、移民問題を正面から議論することができないまま、在留外国人なしには社会が回らなくなりつつある日本。なぜ日本では移民がタブーになったのか。現代日本が陥る「ジレンマ」から抜け出す方途を徹底検証する。

毎日新聞 2023/08/05

2023:6./ 254p
978-4-02-295224-0
¥935〔税込〕

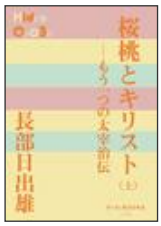
MARUZEN-YUSHODO

グレープフルーツ・ジュース(講談社文庫)

1998:4./ 121p
978-4-06-263764-0
¥770〔税込〕

オノ・ヨーコ 著
講談社
あまりにも衝撃的なオノ・ヨーコの「グレープフルーツ」。東京で、のち英語版として世界で発売されたこの 1 冊に刺激されて、ジョン・レノンは名曲「イマジン」を生み出しました。その中から言葉をえらんで訳しなおした、33 人の写真家との素敵なコラボレーション!!

毎日新聞 2023/08/05

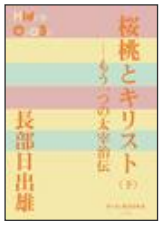


桜桃とキリスト～もう一つの太宰治伝～<上>(P+D BOOKS)

2019:6./ 323p
978-4-09-352367-7
¥660〔税込〕

長部 日出雄 著
小学館
「女生徒」での新境地、井伏鱒二との師弟関係、キリスト教の影響…。妻・美知子との出逢いから、戦後の作家としての絶頂期と玉川上水心中までの太宰治の作品背景と後半生を活写する。「辻音楽師の唄」に続く太宰治伝。

毎日新聞 2023/08/05



桜桃とキリスト～もう一つの太宰治伝～<下>(P+D BOOKS)

2019:6./ 354p
978-4-09-352368-4
¥660〔税込〕

長部 日出雄 著
小学館
「如是我聞」における志賀直哉への罵倒の真相、地上の別れ…。妻・美知子との出逢いから、戦後の作家としての絶頂期と玉川上水心中までの太宰治の作品背景と後半生を活写する。「辻音楽師の唄」に続く太宰治伝。

毎日新聞 2023/08/05

きしむ政治と科学～コロナ禍、尾身茂氏との対話～

2023:7./ 293p
978-4-12-005677-2
¥2,420〔税込〕

牧原出／坂上博 著
中央公論新社
尾身茂・新型コロナウイルス感染症対策分科会長への計 12 回、24 時間を超える問答から、政治と科学をめぐる深刻な問題をあぶり出す。『中央公論』掲載記事ほかインタビューをもとに単行本化。

毎日新聞 2023/08/05

日本史の旅人～野呂邦暢史論集～(中公文庫　の 17-2)

2023:6./ 327p
978-4-12-207381-4
¥1,210〔税込〕

野呂邦暢 著
中央公論新社
歴史は万人のものである-。歴史への深い情熱、飽くなき探究心を持ち続けた作家、野呂邦暢。古代から近代まで、幅広い守備範囲で歴史雑誌に寄稿した史論など、単行本未収録の諸作から、その歴史観を浮き彫りにする。

毎日新聞 2023/08/05

教育虐待～子供を壊す「教育熱心」な親たち～(ハヤカワ新書 005)

石井　光太 著
早川書房
ゆがんだ教育熱は社会の変化の中でどのように生まれ、「奈良県エリート少年自宅放火事件」「医学部 9 浪母親殺害事件」などの悲劇をもたらしたのか。多角的な取材から現代の闇を照らし、親子のあり方を問う。

毎日新聞 2023/08/05

2023:6./ 227p
978-4-15-340005-4
¥1,056〔税込〕

理念経営 2.0～会社の「理想と戦略」をつなぐ 7 つのステップ～

佐宗　邦威 著
ダイヤモンド社
あなたの会社に「意味」はあるか? ベストセラー「直感と論理をつなぐ思考法」の著者が、企業理念のつくり方・活かし方を語る。会社・仕事の「意義」が見えてくる、切り取り式の「パーパスナラティブキャンバス」付き。

毎日新聞 2023/08/05

2023:5./ 325p
978-4-478-11450-6
¥2,420〔税込〕

人生はチャンバラ劇

飯野和好 著
パイインターナショナル
絵本作家・飯野和好の痛快ものがたり。若い頃の道の踏みまちがいや失敗、迷い・涙・笑いの半生を綴った自叙伝のほか、自選作品集、描きおろしイラストエッセイなどを収録する。貴重な図版や秘蔵写真も掲載。

毎日新聞 2023/08/05

2023:4./ 183p
978-4-7562-5587-7
¥1,980〔税込〕

月夜の黒猫事典～知られざる歴史とエピソード～(ひみつの本棚シリーズ)

ナタリー・セメニーク 著
グラフィック社
あるときは不幸の前兆と畏れられ、あるときは幸運のマスコットとして愛される黒猫。黒猫にまつわる謎と迷信、そしてそれらが紡いできた歴史と伝説を、クラシカルなイラストや版画とともに解き明かす。

毎日新聞 2023/08/05

2023:7./ 135p
978-4-7661-3787-3
¥1,980〔税込〕

中央銀行はお金を創造できるか～信用システムの貨幣史～

金井 雄一 著
名古屋大学出版会
経済学の「常識」が、いかに貨幣の実態を捉えそこね、不合理な判断や施策を生み出してきたか、イギリス金融史の精緻な分析をもとに鋭く実証。近代的貨幣の生成プロセスを「信用」の次元から描き直し、政策の指針を示す。

毎日新聞 2023/08/05

2023:6./ 4p,227p
978-4-8158-1125-9
¥5,940〔税込〕

ポトゥダニ川～プラトーノフ短編集～(群像社ライブラリー　47)

アンドレイ・プラトーノフ 著
群像社
戦争が終わり故郷に帰った若い兵士。彼は以前と同じように生きていけるのか。貧しい男の聖なる魂や少年の心に寄りそう掌編、のちの作品のモチーフがつまっている実験的短編など全5篇を収録。作家の新たな一面が光る小作品集。

毎日新聞 2023/08/05

2023:6./ 227p
978-4-910100-31-9
¥1,980〔税込〕

流れる島と海の怪物

田中 慎弥 著
集英社
「俺」は、あるお屋敷で神秘的な姉妹に出会った。母はなぜ「俺」を姉妹に会わせたのか。それは、自分の出生の秘密と、姉妹の母の故郷である島にまつわる悲しい神話に結びついていた…。『すばる』連載を加筆修正し単行本化。

毎日新聞 2023/08/05、産経新聞 2023/08/13

2023:6./ 316p
978-4-08-771837-9
¥2,145〔税込〕

現代日本の消費分析～ライフサイクル理論の現在地～

宇南山 卓 著
慶應義塾大学出版会
消費税率引上げ、老後の生活資金の不足問題など、日本の消費にまつわる多様な現象を「ライフサイクル理論」を用いて一貫した視点から分析。経済環境の変化がどのように家計行動を変えるのか、そのメカニズムを解明する。

毎日新聞 2023/08/05、朝日新聞 2023/08/12

2023:5./ 29p,500p
978-4-7664-2895-7
¥7,480〔税込〕

むしろ幻想が明快なのである～虫明亜呂無レトロスペクティブ～(ちくま文庫　む 7-4)

虫明亜呂無／高崎 俊夫 著
筑摩書房
三島由紀夫、大島渚、寺山修司が絶賛したスポーツ評論をはじめ、映画、音楽、文芸など幅広いジャンルをテーマに上質で官能的な文章を書いた異才、虫明亜呂無。単行本未収録作品や代表作などから精選したエッセイ集。

毎日新聞 2023/08/05、読売新聞 2023/08/20

2023:7./ 413p
978-4-480-43896-6
¥1,210〔税込〕

可燃物

米澤 穂信 著
文藝春秋
連続放火事件が発生し、県警葛班が捜査に当てられるが、容疑者を絞り込めないうちに犯行がぴたりと止まってしまう。捜査は行き詰まるかに見えたが…。葛警部の鮮やかな推理が光る全5編。『オール讀物』掲載を単行本化。

毎日新聞 2023/08/06、産経新聞 2023/08/13

2023:7./ 275p
978-4-16-391726-9
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

かたばみ

木内　昇 著
KADOKAWA
女性の生き方もままならない戦後の混乱と高度成長期の中、小金井で教師をしていた悌子は、よんどころない事情で家族を持つことに…。血の繋がらない親子を描く、笑いと涙のホームドラマ。『北海道新聞』等連載を加筆修正。

毎日新聞 2023/08/06、朝日新聞 2023/08/26

2023:8./ 556p
978-4-04-112253-2
¥2,585〔税込〕

礫～山口昭男句集～(令和俳句叢書)

山口昭男 著
ふらんす堂
夏の月ロールキャベツに白き帯 枝折つて年のはじめの音とする 音はみな雪解雫の中にあり 夕顔に気分よき人立つてをり 子の名前水泳帽の正面に 2017～2022 年の作品 338 句をまとめた第 4 句集。

毎日新聞 2023/08/07

2023:6./ 213p
978-4-7814-1543-7
¥3,080〔税込〕

西方の樹～秋山佐和子歌集～

秋山佐和子 著
砂子屋書房
丹田に力入りたり喪の帯をかたくひと息に結び終ふれば 和泉式部詣でしといふ玉置神社の神代杉へ霏霏と雪降る 2014 年から 2023 年までの 498 首を制作順にまとめた第 9 歌集。

毎日新聞 2023/08/07

2023:5./ 231p
978-4-7904-1862-7
¥3,300〔税込〕

無垢の時代(岩波文庫　赤 345-1)

イーディス・ウォートン 著
岩波書店
1870 年代初頭の冬の宵。メイとの婚約発表を控えた青年ニューランドは歌劇場で幼馴染のエレンと再会し…。2 人の女性の間で揺れ惑う姿を通して、時代の変化にさらされる<オールド・ニューヨーク>の社会を鮮やかに描く。

毎日新聞 2023/08/12

2023:6./ 588p
978-4-00-323451-8
¥1,507〔税込〕

クローズド・ノート(角川文庫)

雫井　脩介、角川書店装丁室　高柳雅人 著
角川書店
自室のクローゼットで見つけたノート。それが開かれたとき、私の日常は大きく変わりはじめる－。『犯人に告ぐ』の俊英が贈る、切なく温かい、運命的なラブ・ストーリー!

毎日新聞 2023/08/12

2008:6./ 444p
978-4-04-388601-2
¥748〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

暇と退屈の倫理学(新潮文庫　こ-73-1)

國分 功一郎 著
新潮社
ウサギ狩りに行く人は本当は何が欲しいのか? 暇と退屈の問題を歴史的、哲学的に論じ、ハイデッガーの退屈論などを紹介。それらの知見をもとに、<暇と退屈の倫理学>を構想する。

毎日新聞 2023/08/12

2022:1./ 508p
978-4-10-103541-3
¥880〔税込〕

ツユクサナツコの一生

益田 ミリ 著
新潮社
マスク生活 2 度目の春。32 歳のナツコは漫画を描く。世界と、誰かと、自分と“わかり合う”ために-。自分の「好き」を大切に生きる人に贈るストーリー・マンガ。『小説新潮』連載を加筆し単行本化。

毎日新聞 2023/08/12

2023:6./ 269p
978-4-10-351982-9
¥1,980〔税込〕

三島由紀夫論

平野 啓一郎 著
新潮社
「仮面の告白」「金閣寺」など 4 作品の精読を通して、文学者としての三島由紀夫の創作活動と、「天皇主義者」としての行動とを一元的に論じ、三島の生涯と思想を解明する。『新潮』『群像』『文學界』掲載を書籍化。

毎日新聞 2023/08/12

2023:4./ 670p
978-4-10-426010-2
¥3,740〔税込〕

武藤章～昭和陸軍最後の戦略家～(文春新書　1417)

川田 稔 著
文藝春秋
陸軍軍務局長として、陸軍の政戦略を握っていた武藤章は、一貫して対米戦争を回避したいと考えていた。なぜ負けると分かっているアメリカと戦争を始めたのか。国家の運命を賭けた苦闘を描いた本格評伝。

毎日新聞 2023/08/12

2023:7./ 286p
978-4-16-661417-2
¥1,210〔税込〕

女スパイ鄭蘋茹の死(徳間文庫 た 70-1)

橘かがり 著
徳間書店
中国人の父と日本人の母を持つ鄭蘋茹は美貌を謳われる一方、祖国を憂う心にも満ちていた。国民党に引き抜かれた蘋茹は、日本軍が上海に設置した特務機関ジェスフィールド 76 号の主任・丁黙邨に接近することに成功するが…。

毎日新聞 2023/08/12

2023:3./ 285p
978-4-19-894844-3
¥792〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

日本語が消滅する(幻冬舎新書　や-9-2)

山口 仲美 著
幻冬舎
各地で言語が消滅するのはどんな時か、日本語はどんな時に最も消滅しやすいのか、それを防ぐには。これらの問題に明快な解答を与えつつ、オノマトペが豊富で、繊細な意味合いまで出せる日本語の面白さ・底力を楽しく解説する。

毎日新聞 2023/08/12

2023:6./ 302p
978-4-344-98696-1
¥1,078〔税込〕

B-29 の昭和史～爆撃機と空襲をめぐる日本の近現代～(ちくま新書　1730)

若林 宣 著
筑摩書房
模型や爆音レコードが販売された戦時下の人気コンテンツ「B-29」は、今も「火垂るの墓」などを通して知られている。「B-29」はいかにして、太平洋戦争そのものを象徴する存在になったのか。豊富な資料から読み解く。

毎日新聞 2023/08/12

2023:6./ 318p
978-4-480-07560-4
¥1,078〔税込〕

海のプール～海辺にある「天然プール」を巡る旅～

清水 浩史 著
草思社
海と太陽、透明感、静寂、自由…。海辺の岩場を掘ったり、海を必要最小限のコンクリートで囲ったりしてつくられた海のプール。日本全国でおよそ 20 箇所現存する海のプールをはしごした著者が綴った異色の旅エッセイ。

毎日新聞 2023/08/12

2023:6./ 237p
978-4-7942-2663-1
¥1,870〔税込〕

芝居の面白さ、教えます～井上ひさしの戯曲講座～<日本編>

井上 ひさし 著
作品社
敬愛する戯曲家の伝記的事実、演劇史の解説、演出の仕方、せりふの一言一句への詳細な解釈…。井上ひさしが、真山青果、宮沢賢治などを取り上げ、芝居に関する蘊蓄・愛情を縦横に語った、未発表の戯曲講座。

毎日新聞 2023/08/12

2023:7./ 277p
978-4-86182-988-8
¥2,970〔税込〕

パリ日記～特派員が見た現代史記録 1990-2021～<5>　オランド、マクロンの時代

山口 昌子 著
藤原書店
在パリ 30 年、ボーン・上田記念国際記者賞受賞の女性ジャーナリストが 20 世紀末～21 世紀初頭の「世界」を克明に記した、スリリングな現代史クロニクル。5 は、2011 年 10 月～2021 年 5 月を収録。

毎日新聞 2023/08/12

2023:6./ 589p
978-4-86578-390-2
¥5,280〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

甦る戦災樹木～カラー版～

菅野博貢 著
さくら舎
燃える町、逃げ惑う人々…。あの日、樹々は何を見たのか。2014 年から 2023 年にかけて行った、空襲の生々しい損傷を残す全国の戦災樹木への調査・探索・研究をもとに、戦争と戦後を考える。

毎日新聞 2023/08/12

2023:5./ 363p
978-4-86581-385-2
¥3,960〔税込〕

日本の西洋史学～先駆者たちの肖像～(講談社学術文庫　2761)

土肥 恒之 著
講談社
西洋の「受け売り」ではなく、主体的な学問の確立を目指した黎明期。ルネサンスや資本主義をどう理解し、「大東亜戦争の世界史的意義」はいかに論じられたか。明治以来の先駆者たちの生き方と著作から、西洋史学の誕生を辿る。

毎日新聞 2023/08/19

2023:3./ 311p
978-4-06-531263-6
¥1,298〔税込〕

大地<1>　改版(新潮文庫　ハ-6-1)

パール・バック 著
新潮社
大地主の黄家の奴隷・阿蘭を嫁にもらった小作農の王龍。美しくはないが働き者の妻を得た彼は子宝に恵まれ、黄家の土地を買うまでに運が上向くが…。19 世紀後半～20 世紀初頭の中国を舞台に、激動の 3 世代を描く大河ドラマ。

毎日新聞 2023/08/19

2013:6./ 490p
978-4-10-209901-8
¥880〔税込〕

台湾動物記～知られざる哺乳類の世界～

押田　龍夫 著
東京大学出版会
ムササビを追って台湾へ-。豊かな自然は、哺乳類の進化をめぐる秘密の宝庫だった!台湾で野生動物を追いかけた著者が、不思議で美しい動物たちの知られざる世界に迫る。写真も掲載。

毎日新聞 2023/08/19

2023:6./ 5p,144p,8p
978-4-13-063380-2
¥3,520〔税込〕

帝国ホテルと日本の近代～「ライト館」はいかにして生まれたか～

永宮 和 著
原書房
日本の近代西洋化と軌を一にする帝国ホテルの誕生と歩み、そしてフランク・ロイド・ライトとの関わりを、新たな情報とさまざまなエピソードとともに振り返り、近代日本の世相をも浮かびあがらせる。

毎日新聞 2023/08/19

2023:7./ 266p
978-4-562-07294-1
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

人を動かすナラティブ～なぜ、あの「語り」に惑わされるのか～

大治 朋子 著
毎日新聞出版
頭の中に浮かぶ物語「ナラティブ」は個人を、社会を突き動かす。ナラティブはいかなる力を持ち、なぜ人を虜にするのか。近年国内外で起きたさまざまな事件や現象の背後に潜むナラティブのメカニズムとその影響力を解き明かす。

毎日新聞 2023/08/19

2023:6./ 397p
978-4-620-32779-2
¥2,200〔税込〕

びっくり!ふしぎ!海の求愛・子育て図鑑

星野修 著
築地書館
イソギンチャクに隠れ卵を守るクマノミ、雄から旅立つハナタツの幼魚、分裂し繁殖するクモヒトデ類…。求愛と交接、産卵・孵化から保育、クローン繁殖まで、海の小さな生き物たちの驚きの繁殖行動をカラー写真で紹介する。

毎日新聞 2023/08/19

2023:5./ 143p
978-4-8067-1648-8
¥2,200〔税込〕

口述筆記する文学～書くことの代行とジェンダー～

田村 美由紀 著
名古屋大学出版会
ディスアビリティやケアが絡み合う空間で、筆記者、特に女性の役割は不可視化されてきた。大江健三郎、桐野夏生らの作品をも取り上げ、書くことの代行に伴う葛藤とジェンダー・ポリティクスを鋭く分析する。

毎日新聞 2023/08/19

2023:8./ 6p,304p,5p
978-4-8158-1129-7
¥6,380〔税込〕

天皇の歴史と法制を見直す

所 功 著
藤原書店
2 千年近く続いてきた歴代天皇と宮廷文化の実像を解き明かし、近現代の皇室法制の成立史と問題点を概述しながら、当面必要な改善案も提示する。歴代天皇の略系図・略年譜なども収録。

毎日新聞 2023/08/19

2023:6./ 431p
978-4-86578-389-6
¥3,960〔税込〕

古代国家形成期の社会と交通

田中　裕 著
同成社
古代日本の国家形成期における交通ネットワーク・システムを主題に、水上交通と陸上交通の複合的な展開によりもたらされる地域社会の変容を具体的に論証。ヤマト王権の広域的組織化の特徴を解明する。

毎日新聞 2023/08/19

2023:4./ 10p,426p
978-4-88621-907-7
¥9,900〔税込〕

パレスチナ 特別増補版

ジョー・サッコ 著
いそっぷ社
1991～92 年にかけてイスラエルの占拠地で過ごした著者が、パレスチナ人の過酷な事実をレポートするルポルタージュ・コミック。著者がコミックに込めた思いなどを追記した特別増補版。

毎日新聞 2023/08/19

2023:1./ 285p
978-4-910962-00-9
¥2,200〔税込〕

「若者の読書離れ」というウソ～中高生はどのくらい、どんな本を読んでいるのか～(平凡社新書　1030)

飯田　一史 著
平凡社
この 20 年間で小中学生の平均読書冊数は V 字回復したが、「若者は本を読まない」と当たり前のように語られている。各種データから中高生のニーズや人気の本の型を提示し、若者の読書についての思い込みを打ち破る。

毎日新聞 2023/08/19、読売新聞 2023/08/27

2023:6./ 262p
978-4-582-86030-6
¥1,078〔税込〕

公営競技史～競馬・競輪・オートレース・ボートレース～(角川新書　K-428)

古林　英一 著
KADOKAWA
戦後、復興と地方財政の健全化を目的に誕生した公営競技。世界に類をみない独自のギャンブル産業はいかに生まれ、存続したのか。地域経済との関わりから研究してきた第一人者が、各競技の前史や成功要因などを解説する。

毎日新聞 2023/08/26

2023:8./ 316p
978-4-04-082469-7
¥1,100〔税込〕

100 年後への置き手紙

井田 幸昌 著
小学館
数々の芸術作品を世に生み出し続ける現代美術家・井田幸昌。その作品のほか、過去の写真、スケッチ、メモ、発言などで多面的に構成し、稀代のアーティストが形成されるまでの軌跡を辿る。

毎日新聞 2023/08/26

2023:7./ 186p
978-4-09-682434-4
¥3,080〔税込〕

五瓣の椿　第 2 版(新潮文庫　や-3-10)

山本 周五郎 著
新潮社
労咳に侵された父親の最期の日々、娘の懸命の願いも聞かず淫蕩な母親は若い役者と遊び惚けた。父親が死んだ夜、母親は娘に出生の秘密を明かす。そして、娘は羅刹と化した…。倒叙型のミステリー仕立てで法と人倫の境界を描く。

毎日新聞 2023/08/26

2019:6./ 365p
978-4-10-113489-5
¥605〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

バレエの世界史～美を追求する舞踊の 600 年～(中公新書　2745)

海野敏 著
中央公論新社
ダ・ヴィンチ制作の舞台装置、ルイ 14 世が舞った「太陽」役、チャイコフスキーの三大バレエ、シャネルやピカソが参加したバレエ・リュス…。約 600 年にわたるバレエの変遷を、世界史の流れに沿って紹介する。

毎日新聞 2023/08/26

2023:3./ 3p,306p
978-4-12-102745-0
¥1,034〔税込〕

亡霊の地

陳　思宏 著
早川書房
ベルリンで同性の恋人を殺した天宏は刑期を終え、故郷の台湾の村に帰る。中元節を迎えていた村では死者の霊も舞い戻り…。生者と死者の語りで、天宏が恋人を殺した理由や、過ぎ去りし時代の恐怖と無情が明らかになっていく。

毎日新聞 2023/08/26

2023:5./ 422p
978-4-15-210239-3
¥3,850〔税込〕

資本主義の<その先>へ

大澤 真幸 著
筑摩書房
経済現象としての資本主義の本質を明らかにし、近代科学および近代小説の言説に照準し、精神的・社会的現象として再定義。資本が提示する「普遍性」とは別の真実の<普遍性>など、<その先>へ行くための論理的可能性を示す。

毎日新聞 2023/08/26

2023:6./ 453p
978-4-480-86743-8
¥2,640〔税込〕

歴史を知る読書(PHP 新書　1351)

山内 昌之 著
ＰＨＰ研究所
歴史学の泰斗が歴史書を読む愉しみや落とし穴を語った上で、青春時代最も感動した作品「留魂録」、美談や偽善では民主主義を守れないことを教える「ギリシア人の物語」など名著 75 冊を紹介する。

毎日新聞 2023/08/26

2023:4./ 251p
978-4-569-85442-7
¥1,155〔税込〕

中井久夫 人と仕事

最相葉月 著
みすず書房
患者とは考え、考え、考えている者である-。われわれの世界に数々の知恵と言葉とヒントを遺していった精神科医・中井久夫。1960 年代の精神科医誕生の前後からその死までを軸に、中井の生涯と仕事を追う。

毎日新聞 2023/08/26

2023:8./ 233p
978-4-622-09603-0
¥2,860〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

西荻さんぽ

目黒 雅也 著
亜紀書房
ランチするなら、ハシゴするなら、骨董買うなら、本屋へ行くなら…“西荻”という手がありますよ-。吉祥寺の隣でにぎわう、JR 中央線の奥座敷・西荻窪。地元生まれの著者が、“西荻”の小道や店をイラストとともに紹介する。

毎日新聞 2023/08/26

2023:6./ 294p 図版 32p
978-4-7505-1795-7
¥2,200〔税込〕

カビンくんとドンマちゃん～感覚過敏と感覚鈍麻の感じ方～

加藤 路瑛 著
ワニブックス
暑い寒いを感じにくい、ケガが多い、光がまぶしい、服が痛い…。その違和感には、理由がある。感覚過敏(カビンくん)と感覚鈍麻(ドンマちゃん)の 2 人が感じている困りごとをストーリー形式で紹介し、精神科医が解説する。

毎日新聞 2023/08/26

2023:8./ 191p
978-4-8470-7328-1
¥1,595〔税込〕

絵本★百貨典

永岡 綾 編
刈谷 政則 著
ブルーシープ
2023 年開催の「谷川俊太郎 絵本★百貨展」の公式図録。20 代で自費出版した「絵本」から、2023 年の最新作「ここはおうち」までの著作物から 172 作を選び、豊富なビジュアルとともに紹介。インタビューも掲載する。

毎日新聞 2023/08/26

2023:5./ 560p
978-4-908356-44-5
¥4,400〔税込〕

日本宗教のクセ

内田樹／釈徹宗 著
ミシマ社
武道家・思想家の内田樹と宗教学者・僧侶の釈徹宗による「日本宗教のクセ」をめぐる対談集。神仏習合、夕日の聖性、アスリートの宗教性など、多岐にわたるテーマを語り合う。ミシマ社のオンラインイベントの内容を書籍化。

毎日新聞 2023/08/26

2023:8./ 243p
978-4-909394-91-0
¥2,090〔税込〕

福田村事件～関東大震災・知られざる悲劇～

片岡 力／杉原 修 編
辻野 弥生 著
五月書房新社
関東大震災における朝鮮人虐殺という惨劇。大正 12 年 9 月 6 日、千葉県福田村三ツ堀で香川の売薬行商人らが自警団に殺害された「福田村事件」についての記録。映画監督・森達也の寄稿や関連資料も収録。

毎日新聞 2023/08/26、東京・中日新聞 2023/08/27

2023:6./ 269p
978-4-909542-55-7
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

遠い声、遠い部屋

トルーマン・カポーティ 著

新潮社

父親を探してアメリカ南部の小さな町を訪れたジョエル少年の、近づきつつある大人の世界に怯え屈折する心理と、脆くもうつろいやすい感情とを描いた、カポーティの半自伝的なデビュー長編。村上春樹による新訳。

毎日新聞 2023/08/27

2023:7./ 283p
978-4-10-501409-4
¥2,530〔税込〕

ヤギと少年、洞窟の中へ

池澤　夏樹 著

スイッチ・パブリッシング

池澤夏樹が、沖縄の暗いガマ(洞窟)の中で命を落とした人々の悲しみを 1 人の少年の視点から伝える物語を紡ぎ、黒田征太郎が闇を描く。沖縄戦で亡くなった師範学校女子部と沖縄県立第一高等女学校の生徒たちの名前を掲載。

毎日新聞 2023/08/27

2023:6./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-88418-618-0
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO